

第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.1）

重点取組	生涯を通じた健康づくり対策
目標	生活習慣病予防など地域での健康づくり対策を推進し、住民が生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域社会を目指します。
実施主体	市町、保健所、医療保険者、医師会、食生活改善推進員等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査受診者数7,752名（受診率は8月末時点で39.6%） ・県ヘルスアップ支援事業による特定健診未受診者勧奨・特定保健指導未利用者勧奨事業を実施。特定健診は、受診券発送者の中で優先順位の高い対象者へ勧奨通知を送付。特定保健指導は利用券発送者全員へアンケート付き勧奨通知を送付。 ・市独自で40～44歳の方へ受診勧奨通知を送付。 ・60代、過去3年間の不定期受診等の方で電話番号を取得している1,090名へ電話勧奨を実施。 ・特定健診受診プレゼントキャンペーンの実施。 ・特定保健指導実施者（事業継続中のため初回面談修了者）107名（実施率は8月末時点で15.8%） ・糖尿病性腎症重症化予防事業の保健指導実施者11名（うち修了者10人）、受診勧奨後の医療機関受診者11人（18.6%） 	<p>市独自で40～49歳、過去3年間の不定期受診者、3年連続の方へ受診勧奨通知を送付。60代、過去3年間の不定期受診等の方で電話番号を取得している方へ電話勧奨を実施。特定健診受診プレゼントキャンペーンの実施。市独自の取り組みとして、3か月間の保健指導終了後にさらに3か月のフォローアップ支援を人数限定で実施。また、特定保健指導業務と合わせて、特定保健指導未利用者勧奨業務を委託にて実施し、利用率向上を図る。</p>	<p>特定健康診査受診率は、H30とR元年度は46.3%であったが、令和2年度39.4%、令和3年度43.4%、令和元年度の受診率までは回復していない。団塊の世代が後期高齢者医療制度に加入していく影響もあり、被保険者数は年々減少。目標値との乖離が大きい。</p> <p>R5年度目標値：特定健診受診率 60% 保健指導実施率 60%</p>
② 食育の推進	<p>令和4年度食育講演会 テーマ「睡眠と食事の深い関係」 R4.10.12実施 127人参加</p> <p>男性料理教室 2日間コース 3回 実施 延べ64人参加</p>	<p>令和5年度食育講演会 テーマ「食べること 生きること 最期まで口から食べられる街づくり」 R5.10.12実施予定</p> <p>男性料理教室 2日間コース 3回 実施予定</p>	<p>緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の期間は前日や当日のキャンセルが多数出た。</p>
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	<p>小児生活習慣病予防検診（小学4年生対象）の受診率98%（受診者877/891人）</p> <p>いきいき健康相談 一人ひとりの身体状況に応じた健康づくりができるよう支援し、相談者に自らの健康に関心を持ってもらい、生活習慣について意識の向上を図る。 各種健（検）診実施期間中は、受診勧奨の実施。 42人の参加あり</p> <p>・ポピュレーションアプローチ 健康づくり課と連携し、胃がん・肺がん検診の受診者に高血圧等の生活習慣病予防のためのリーフレットを配布し、予防のための普及啓発を実施。また、胃がん・肺がん検診受診の希望者に血圧測定。（新型コロナウイルス感染症の流行状況による）</p> <p>・ハイリスクアプローチ 令和3年度特定健康診査または人間ドック受診かつ①、②または③該当者に健康相談案内または医療機関受診勧奨の通知を送付 ①収縮期血圧が160mmHg以上かつ未治療の方 ②収縮期血圧160mmHg以上かつ令和3年度通知発送していない方（①該当者は除く） ③収縮期血圧150～159mmHg以上かつ血圧未治療かつ令和3年度通知発送していない方かつ高血圧服薬なし *健康相談につながった方* 11名 【内訳】①3名 ②6名 ③2名 *医療受診につながった方* ①10名（通知後電話前5名、電話後5名） ②0名 ③3名</p>	<p>小児生活習慣病予防検診（小学4年生対象）の実施</p> <p>いきいき健康相談 一人ひとりの身体状況に応じた健康づくりができるよう支援し、相談者に自らの健康に関心を持ってもらい、生活習慣について意識の向上を図る。 各種健（検）診実施期間中は、受診勧奨の実施</p> <p>同左</p>	<p>学校健診の中で行うことにより、受診率が非常に高くなっていることに併せ、全体の8～10%の児童は要医学的管理又は要経過観察の判定となっている点から、小児期からの普及啓発という点で非常に効果的な取り組みとなっている。</p> <p>国保年金課と連携し、特定健診受診者高血圧者に医療機関の受診と相談を勧奨した。</p> <p>生活習慣病予防（ポピュレーションアプローチ及びハイリスクアプローチ）のための取組として今後も健康づくり課と連携して実施</p>
④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	<p>市内の小中学校で思春期防煙・薬物乱用防止教室を開催。 小学校13校 中学校3校で実施 2130人に実施</p>	<p>市内の小中学校で思春期防煙・薬物乱用防止教室を開催。 小学校14校 中学校3校で実施予定</p>	<p>他の学校行事との日程調整が困難なことがある。</p>
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	<p>地域包括支援センター（5箇所）でネットワーク会議開催（計10回）。生活支援体制整備事業による第1層・2層支え合い推進会議（1層2回、2層24回）</p>	<p>地域包括支援センター（5箇所）でネットワーク会議を開催。計10回 第1層・2層支え合い推進会議（1層2回） 昨年度より移動販売を実施</p>	<p>地域包括支援センターはコロナウイルス感染症の影響で会議は書面開催をしたこともあったが、緩和してからはすべて会場で実施。生活支援体制整備事業は令和4年10月より移動販売を開始。各協議体で販売ルートの検討を行った。</p>
⑥ 健康づくり支援のための人材育成	<p>・のすっこ体操サポーター養成講座7名 ・介護予防リーダー養成講座13名（2回実施）</p>	<p>・のすっこ体操サポーター養成講座6～8月（全8回）実施 ・介護予防リーダー養成講座8、3月実施予定</p>	<p>途中、コロナ禍から人数を制限して実施したが、緩和してからは実施回数を増加し、参加者の増加に至った。</p>

【上尾市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率：44.5% (R3年度法定報告) ・40歳前特定健診受診勧奨：通知発送者 357人 ・特定保健指導修了率：8.7% (R3年度法定報告) (令和4年度の特定健診及び特定保健指導の受診率等は未確定) ・糖尿病の重症化リスクの高い医療機関未受診者や受診中断者に対する受診勧奨：対象者148人、医療機関受診者数28人 (R4受診勧奨業務事業報告より) ・糖尿病性腎症のハイリスク者に対し保健指導を実施：対象者191人、修了者11人 (R4保健指導業務事業報告より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診勧奨の実施 (年2回) ・特定保健指導の利用勧奨の実施 (随時) ・40歳前特定健診受診勧奨の実施 (年1回) ・特定健診の周知広報の実施 ・糖尿病性腎症重症化予防事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率向上のため、受診勧奨を実施した。令和2年までは年1回、令和3年からは年2回実施した。埼玉県市町村平均の38.2%と比較すると受診率は高いが、コロナ禍前 (令和元年度受診率45.9%) の状況までは回復していない。 ・40～50歳代の健診受診率向上のため、令和2年度より、次年度40歳を迎える対象者へ、特定健診の受診勧奨を実施した。令和2年度と令和3年度の対象者の受診率を比較したところ令和2年度は17.9%、令和3年度は23.5%であり、一定の効果があったと思われる。 ・特定保健指導においても利用率向上のため、利用勧奨を実施した。 ・糖尿病重症化予防の保健指導については国保連合会との共同事業において、受診勧奨や保健指導を実施した。
② 食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内連携会議 1回実施、推進状況等を共有 (書面会議、調査各1回) ・食生活改善推進員による市民への地区伝達講習 (調理を伴う講話) の実施 (6テーマ11回) ・キッズ☆厨房 (3回 23組)、幼児食教室 (1回 7人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内連携会議及び実施状況調査：1回 ・食生活改善推進員による市民への地区伝達講習：6テーマ ・キッズ☆厨房：2回 ・幼児食教室：1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・密な協力関係の構築 ・コロナ禍による食生活改善推進員の減少
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> ・からだ改善！キテ軽運動教室等 19回 延114人 ・学ぼう！脂肪を貯めにくくする食事 10回 延23人 ・ランチ調理実習 4回 延43人 	<ul style="list-style-type: none"> 運動教室の実施 ・筋力アップ：2回 ・簡単ストレッチ：5回 ・脂肪燃焼：5回 ・リラクソヨガ：3回 ・姿勢改善ピラティス：3回 栄養教室：8回 ランチ調理実習：4回 	新規の参加者が集まりにくく、固定化しやすい。
④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ及び広報あげお (3月号) に記事を掲載 ・受動喫煙のパフレットを保健センターに設置 	市ホームページ及び広報あげお (3月号) に記事を掲載予定	公共機関、それ以外も含めた具体的対策の実施が難しい。
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	<ul style="list-style-type: none"> 【関係課 (保険年金課・高齢介護課・健康増進課) による庁内連携会議、作業部会の開催】 ①庁内連携会議 1回開催 ②作業部会 6回開催 【フレイル予防事業の実施】 ①ハイリスクアプローチ ・管理栄養士による個別栄養相談：対象者64名受相者5人 ②ポピュレーションアプローチ ・フレイル予防講座 (1コース3日間×3地区)：参加者57人 ・フレイル予防教室 (6か所の地域サロンで実施)：参加者117人 ・フレイル体組成測定 (健康スポーツ体験会)：参加者106人 	<ul style="list-style-type: none"> 【関係課 (保険年金課・高齢介護課・健康増進課) による庁内連携会議、作業部会の開催】 ①庁内連携会議 年度末1回開催予定 ②作業部会 5/19～3/14 10回開催予定 (うち4回開催済) 【フレイル予防事業の実施】 ①ハイリスクアプローチ ・管理栄養士・歯科衛生士による個別相談 ②ポピュレーションアプローチ ・フレイル予防講座 (1コース3日間×4回地) ・講座開催や市イベントでのフレイル予防の普及啓発 (上尾公民館まつり、あげおdeからだ元気フェスタでのフレイル体組成測定実施：参加者合計178名) 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度より「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業の取組を開始した。関係課 (保険年金課・高齢介護課・健康増進課) と連携し、庁内連携会議や作業部会を開催した。 高齢者へのフレイル予防事業を実施し、効果検証を行った。 また、上尾市リハビリテーション連絡協議会、北足立口腔保健センター、県栄養士会等関係機関との連携により事業を実施した。 対象とする圏域については、健診や医療受診状況等のデータを分析し決定しているが、圏域や対象者の決定、実施団体の選定が難しく、関係機関や地域団体との調整や連携が課題。 フレイル予防事業参加者のアンケート結果からは「フレイル予防について理解できた」、「食生活が改善した」等の回答が得られており、フレイル予防の理解や予防のための行動につながったと考える。 参加者は、健康に対して関心が高い傾向にある。運動習慣が少なく関心が低い高齢者に対して普及啓発していく必要がある。

【桶川市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診は、6月20日～11月30日の期間で実施。 特定保健指導は、10月から5クールで実施。 特定健診受診率：40.09% 特定保健指導利用率：13.48% 糖尿病性腎症重症化予防 受診勧奨：対象者64名 (未受診者57名、受診中断者7名) 糖尿病性腎症重症化予防 保健指導：対象者81名のうち参加者8名 (修了者8名) 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診は、6月19日～11月30日で実施。 特定保健指導は、10月から5クールで実施。 糖尿病性腎症重症化予防は、6月に受診勧奨通知発送。 また6月にかかりつけ医が選定いただいた保健指導対象者へ通知。同意いただいた方はかかりつけ医の指示依頼後、順次保健指導実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導の実施率が低いため、未実施者の理由の把握や、通知内容・インセンティブの付与等利用しやすい環境作りを検討していく必要がある。
② 食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 公民館と子育て支援センターを拠点に講座を実施。 桶川公民館「なしジャムづくり」合計10名参加。 駅前子育て支援センター、駅前子育て支援センター「離乳食・幼児食の講話」合計親子13組参加。 桶川市と女子栄養大学包括連携事業として、3歳3か月児健診 (210名) と30代健康診査 (238名) の受診者を対象に食塩摂取状況調査と尿ナトリウム比測定を実施。また、関係機関と本連携事業に対する検討会を3回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館と子育て支援センターを拠点に講座を実施。 3歳3か月児健診と30代健康診査での尿ナトリウム比測定と集団栄養指導を実施。普及啓発としては、桶川産農産物を使用した献立の考案とリーフレットの作成及び配布を予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容および実施回数等を充実させる必要がある。桶川市と女子栄養大学包括連携事業では、事業を継続させることと成果に対する評価方法を検討していく必要がある。
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> 30代健康診査後、メタボリックシンドローム予防のための個別保健指導を実施。対象者32名のうち、4名参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 30代健康診査後、メタボリックシンドローム予防のための個別保健指導を実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の個別保健指導参加率を向上させる必要がある。

④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	A:小学校5.6年生を対象に防煙健康教室を実施。市内3校、500名参加。 B:妊産婦の喫煙が及ぼす子どもへの悪影響と家族の喫煙が及ぼす周囲への悪影響(副流煙の害)等についてのリーフレットを母子健康手帳交付時に配付。 C:世界禁煙デーの普及啓発活動は、コロナのため中止。	A:小学校5.6年生を対象に市内4校で防煙健康教室を実施。 B:令和4年度の取り組みと同様。 C:世界禁煙デーの5月31日に桶川駅コンコースで「たばこはスワン」ポケットティッシュやチラシを配布。	今後も継続した普及啓発活動が必要である。
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	A:全高齢者を対象に、介護予防に関する活動の普及啓発のために、運動、栄養、口腔等の介護予防教室を実施。 参加者数 延2,728人 B:「健康長生きいききポイント事業」を実施。 社会参加や生きがいを積極的に支援することにより、高齢者の外出や交流を促し、閉じこもりや孤立化を防ぐことを目的とする。「登録ぶっく」を申請し、市が指定する健康診査や講座・教室等の対象事業に参加する「参加コース」、体力づくりや食生活改善の自己目標を決めて記録する「自分でチャレンジコース」、市内を散策しお勤めの場所を季節ごとに紹介する「OKEGAWA散策コース」でポイントを貯め、ポイントが貯まると記念品に交換できる。 登録者数 実2,589人。 また、新たな事業周知の場とし、新規登録者を増やす目的で、敬老月間に75歳の市民を対象に「いきいき敬老スタンプラリー」を実施。ラリーに参加した人は706人、ラリーをきっかけに新規登録した人は192人。 C:「通いの場 100歳体操」の支援。地域において地域の自主的な取組によって介護予防を進めてもらうため、100歳体操の普及を図り、専門職を派遣する等、立ち上げの支援を実施。また、定期的に理学療法士や地域包括支援センターと連携し、活動の支援を実施。 市のフォローアップ支援団体24団体 D:桶川市保健事業と介護予防一体的実施を令和3年より開始。 ①ポピュレーションアプローチ 100歳体操実施団体(通いの場)へ訪問しフレイル予防講座を保健師/栄養士/歯科衛生士にて実施。 訪問団体:23団体 ②ハイリスクアプローチ:健康不明者対策として健診・医療・介護の利用がない等の要件に該当する方へ健康に関するアンケートを実施。 送付数:67件/アンケート返送数:21件/健康相談につながった方:3件(3件のうち1件は電話を行うも不在にて連絡できずパンフレット等のみ郵送し終了している。)	A:運動、栄養、口腔、認知症予防等の介護予防教室を実施する。 B:事業を継続。「いきいき敬老スタンプラリー」については、対象者を65歳以上に拡大し、実施予定。 C:新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しながら年4回の通いの場へのフォローアップを再開する。 また、介護予防サポーター養成講座を実施し、地域での通いの場の立ち上げを支援する。 D:令和5年度実施計画 ①ポピュレーションアプローチ:100歳体操実施団体(通いの場)への訪問を24団体に増大。今後体操実施団体の増加に伴い訪問団体も増大する予定。講師に保健師/栄養士/歯科衛生士を配置し令和4年と講義内容が重ならないよう配置した。 ②ハイリスクアプローチ:令和3年より開始している健康不明者対策を継続。健康に関するアンケートを行い反応がない方へ再通知および昨年健康相談につながった方へのフォローの実施予定。また、令和5年度より高血糖(HbA1c7.0%以上)の方に個別訪問を実施予定。	A:コロナ禍においても、教室時間や内容を工夫し、教室の実施ができた。 教室参加者はリピーターが多く、新規参加者を募っていくことや教室を実施していること自体知らない市民も多いため、周知方法の工夫が必要である。 B:コロナ禍を鑑み、手帳の有効期間を延長する等柔軟に対応できた。 また、新規参加者獲得のため、敬老月間に「いきいき敬老スタンプラリー」を実施したところ、新規参加者を獲得できた。 C:緊急事態宣言中は活動の自粛をお願いすることもあったが、100歳体操実施団体は現在も全ての団体が継続している。 団体の状況がわかるため、定期的なフォローアップ支援は有効だと考えられる。 D:課題 ①ポピュレーションアプローチ:100歳体操実施団体(通いの場)への訪問数を拡大し実施中。現在24団体中10団体実施済。「フレイル」という言葉は徐々に浸透している様子が見られている。 ②ハイリスクアプローチ:健康不明者のアンケート返送件数が少ない。また、相談につながったとしてもその後、健康診査を受けるなどの行動が見られない。アプローチ方法の再検討が必要になってくる。
⑥ 健康づくり支援のための人材育成	「介護予防サポーター養成講座」通いの場 100歳体操の指導者の育成の教室を開催。 参加者数 延21人	介護予防サポーター養成講座を実施し、地域での通いの場の立ち上げを支援する。	養成講座受講者をきっかけとした通いの場である「100歳体操」実施団体は少しずつではあるが、増えてきている。介護予防サポーター養成は継続していく必要がある。

【北本市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期(H30~R5年度)の取組総括
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	R5.8.25日時点法定報告 ・特定健診受診率 42.4% (4,199人) ・特定保健指導実施率 14.7% (64人) ・糖尿病性腎症重症化予防保健指導実施者数4人	・6/19~11/30の期間で特定健診を実施 ・健診期間中に未受診者へのはがきによる受診勧奨を実施予定 ・保健指導を11月から開始予定 ・保健指導対象者へ通知と電話による利用勧奨を実施予定 ・糖尿病重症化予防事業は県との共同事業として実施	・R2年度に落ち込んだ受診率が現在は回復傾向にあるが、国の目標値は達成できていない。 ・保健指導の実施に際して、土日の実施や、利用者の多い市役所での開催を増やし、遠隔面談を可能とする等利用率向上に向けた環境整備を行い、H30年度と比較すると約4ポイント上昇している。 ・糖尿病重症化予防事業への参加者が減少傾向にある。
② 食育の推進	・こどもレシピの作成及び配布 ・健康レシピの作成及び配布	・親子料理教室の開催(7月3日間実施) ・健康レシピの作成及び配布	新型コロナウイルス感染症の影響により、R2からR4まで親子料理教室を中止し、こどもレシピの配布に変えたが、R5年度は実施することができた。他部署と連携し、生涯を通じた食育の推進が必要だと考える。

<p>③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化</p>	<p>【健康診査等】 ・健康診査 107人 ・肝炎ウイルス検査 328人 ・胸部レントゲン検査 7,582人 ・胃がんリスク検診 40人 ・30代までの健康力アップ健診（女性）332人 【集団検診】15日間実施 ・胃がん検診 1,319人 ・肺がん検診 1,373人 ・大腸がん検診 1,572人 ・乳がん検診 941人 ・子宮がん検診 814人 【個別がん検診】 ・大腸がん検診 6～11月実施 4,111人 ・乳がん検診 10～2月実施 28人 ・子宮がん検診 10～12月 394人 ・前立腺がん検診 6～11月 644人 ・成人個別歯科健康診査 6～12月実施 受診者数：170人 【教室・相談事業】 ・糖尿病予防教室 1月～2月にかけて5日間実施。 参加人数 延べ49人 ・糖尿病予防教室フォローアップ事業 10日間実施 参加人数 延べ101人 ・30代までの健康力アップ健診事後講座 4日間実施 参加人数延べ11人 ・成人健康相談 随時実施 利用人数 延べ292人 【健康長寿ウォーキング事業】 ・めざせ！毎日1万歩運動 通年実施 参加者数：1,412人 ・健康スタンプ事業 通年実施 参加者数：延293人 ・健康増進教室参加費用助成金事業 通年実施 ・ポピュレーションアプローチ栄養教室 6～10月 4回実施 参加者数：24人</p>	<p>【健康診査等】 ・健康診査、肝炎ウイルス検査、胸部レントゲン検査、胃がんリスク検診を6月～11月まで実施 ・30代までの健康力アップ検診を7～9月に集団がん検診と同時実施 ・成人個別歯科健康診査 6～12月 【集団がん検診】 ・7月～9月に15日間実施 【個別がん検診】 ・大腸がん検診 6～11月実施 ・乳がん検診 10～2月実施 ・子宮がん検診 10～12月実施 ・前立腺がん検診 6～11月実施 【教室・相談事業】 ・糖尿病予防教室 1月～2月にかけて実施予定。 ・糖尿病予防教室フォローアップ事業 年間10日間程度実施予定 ・30代までの健康力アップ健診事後講座 11月頃実施予定 ・成人健康相談 随時実施 【健康長寿ウォーキング事業】 ・めざせ！毎日1万歩運動 通年実施 ・健康スタンプ事業 通年実施 ・健康増進教室参加費用助成金事業 通年実施 ・ポピュレーションアプローチ栄養教室 6～10月（4回実施） ・運動講座 11月実施</p>	<p>【健康診査等】 ・要精密検査の判定になっているが、精密検査未受診となっている人が散見され、精密検査未受診率の低下を図る必要がある。 ・成人歯科健康診査 H30～R3までは集団で実施し、受診者の固定化や要治療者などの健診後の受診が課題となっていたが、R4から個別健診に変更したことにより、課題がやや解消され、若年層の受診者も増加した。 【教室・相談事業】 新型コロナウイルス感染症の影響により、教室関係は事業の中止や縮小があったが、相談事業は感染症対策をしながら実施した。参加者を増やすための周知方法の工夫や内容の見直しが必要。 就労のため平日の事業に参加できない状況から、就労がある若い世代にも参加しやすい事業の運営を検討する必要がある。 【健康長寿ウォーキング事業】 新型コロナウイルス感染症の影響により、R2から、運動教室や栄養教室などを中止せざるを得ない状況となっていたが、R3から少しずつ再開し始めることができた。 また、既存事業を活用した取り組みを推進する「健康スタンプ事業」の他に、R3から「健康増進教室参加費用助成金事業」を実施した。コロナ禍以前と比較すると、各事業の参加者は減少傾向にある。</p>
<p>④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進</p>	<p>・妊娠届時面接でのアンケート実施と必要時禁煙、受動喫煙指導 ・プレママ・プレパパセミナーでの保健指導</p>	<p>・妊娠届時面接でのアンケート実施と必要時禁煙、受動喫煙指導 ・プレママ・プレパパセミナーでの保健指導</p>	<p>・妊娠から産後を中心とした禁煙対策、受動喫煙指導を個別や集団で実施している。今後は、禁煙プログラムや医療へのつなぎ等の取組の充実が必要と考える。</p>
<p>⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携</p>	<p>【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施】 ・ハイリスクアプローチ→糖尿病性腎症重症化予防保健指導実施者数 11人 ・ポピュレーションアプローチ栄養教室 2会場 4回 参加者24人 【自立支援型地域ケア会議】 ・年12回開催</p>	<p>【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施】 ・ハイリスクアプローチ 糖尿病性腎症重症化予防事業は前年度健診実施者から抽出、勧奨し ①新規、②継続の2パターンで保健指導を実施予定。 ・ポピュレーションアプローチ栄養教室 2会場4回実施予定 【自立支援型地域ケア会議】 ・年12回開催</p>	<p>【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施】 ・令和3年度より高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ取り組み開始。 ・糖尿病性腎症重症化予防事業（ハイリスクアプローチ）への参加者が減少傾向にある。 【自立支援型地域ケア会議】 ・令和2年度コロナ禍となり中断となっていたが令和3年度以降はオンラインを交えながら再開。コロナ禍後の課題について共有される場となった。今後も地域課題の抽出・解決の場として機能を高めていく。</p>
<p>⑥ 健康づくり支援のための人材育成</p>	<p>・サポーター養成講座6回開催。 ・サポーターフォローアップ講座2回開催 ・活動支援を6回開催。</p>	<p>・サポーター養成講座8回開催。 ・サポーターフォローアップ講座3回開催。 ・活動支援を24回開催。</p>	<p>運営スタッフの支援を含め既存の活動団体の介護予防活動の支援を行うことで活性化につながっているため、継続していく。</p>

【伊奈町】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
<p>① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実</p>	<p>・特定健診受診率 48.0% ・特定保健指導実施率 5.6% ・糖尿病性腎症重症化予防保健指導参加者数 6名</p>	<p>・特定健診受診率 60% ・特定保健指導実施率 60% ・糖尿病性腎症重症化予防保健指導参加者数 20名</p>	<p>特定健診の受診率は県内上位であったが、特定保健指導・糖尿病性腎症重症化予防の保健指導への参加率が非常に低かったため、その向上のための取り組みが必要である。</p>
<p>② 食育の推進</p>	<p>食生活改善推進員協議会による生活習慣病の紹介・伝達</p>	<p>食生活改善推進員協議会による料理教室の実施及び町文化祭における健康食の紹介</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が流行したことにより、満足のいく活動ができなかった。</p>
<p>③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化</p>	<p>特定保健指導における直接指導（面談）17名</p>	<p>特定保健指導実施者数 222名</p>	<p>特定保健指導においては実施率の低迷が続いており、その向上のための取り組みが必要である。</p>
<p>④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進</p>	<p>健康増進法の一部改正に基づく公共施設の禁煙対策の実施及びポスター掲示等による制度周知</p>	<p>町ホームページや広報を活用し、制度の周知を実施予定</p>	<p>外部からの要請で、路上での喫煙が行われている現場を視察し、ポスターの掲示場所の確認を行うこともあったが、依然として対策が必要である。</p>
<p>⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携</p>	<p>①NPO団体と介護予防教室「ロコモコール講習会」の開催 2回開催 計36名 ②一体的実施では、健康状態不明者対策（対象：40名に訪問や面談等の実施）及び口腔指導（対象：5名）を行った。また、通いの場（4会場）で健康教育・健康相談を実施。</p>	<p>①NPO団体と介護予防教室「ロコモコール講習会」を3回開催予定 ②健康状態不明者に対する戸別訪問による保健指導の実施（対象：40名） ③口腔機能低下者に対する戸別訪問による保健指導の実施（対象：27名） ④通いの場での健康教育の実施（4会場）</p>	<p>一体的実施については、事業開始が令和3年度からであり、新型コロナウイルス感染症の流行期と重なっていた。このため、今後も住民にわかりやすいよう事業の周知及び継続が必要。</p>

⑥ 健康づくり支援のための人材育成	介護予防体操普及サポーター ①「ロコラジ体操サポーター養成講座」7名 ②「ロコラジ体操サポーターフォローアップ研修」14名	介護予防体操普及サポーター「ロコラジ体操サポーター養成講座」「ロコラジ体操サポーターフォローアップ研修」を開催予定	—
-------------------	---	---	---

医師会

【北足立郡市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて、医師会員に徐々に浸透している。前年度まで、保健指導の内容について主治医に報告が無かったため、令和4年度に報告を開始した。	対象者人数と比較して、受診者数が少ないため、受診勧奨を確実に推し進める。主治医に情報を返し、糖尿病治療の改善を目指す。	受診率は、埼玉県の平均が22.5%であり、若干上回っているものの、更に受診率を増やす必要あり。主治医に更に事業の概要、結果を理解してもらった方がよい。
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	健康一口メモの掲載を継続した。	健康一口メモは継続する。市民への講演会を小さな会でも開催する事を目指す。	コロナ禍に於いて、対面での指導、講演開催は困難だった。
④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	公的な建物においては、敷地内禁煙を推し進めた。	受動喫煙の怖さを周知する。水タバコや電子タバコも同様の扱いとする。	電子タバコは、喫煙ではないと間違った宣伝、考えがある様だが、アレルゲン、化学物質の解明が待たれるところである。
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	ロコモ、フレイル対策として、現状の把握、運動強化目的にNPO法人と連携している。	ロコモ対策をNPO法人と行い、指導を行っている。	コロナ禍に於いて、講演等の開催は困難だったが、ロコモ対策は継続中。
⑥ 健康づくり支援のための人材育成	認知症サポーター養成、ロコラジ体操養成の開催は協力のみ。	養成開催は多少できたものの、今後、サポーター養成に協力する。	自治体によるサポーター養成のバックアップ、協力体制はできているものの、直接の講演会開催は残念ながらできなかった。

【上尾市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	上尾市の特定健診業務受託により実施 特定健診実施医療機関数 64医療機関 特定保健指導実施医療機関数 21医療機関	上尾市の特定健診業務委託受託により実施 特定健診実施医療機関予定数 61医療機関 特定保健指導実施医療機関予定数 20医療機関	特定保健指導実施医療機関の不足解消

歯科医師会

【北足立歯科医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	埼玉歯主 生活歯援プログラム推進関係研修会など受講	埼玉歯主 生活歯援プログラム推進関係研修会など受講（予定）	今後さらに今まで以上の特定健診などの受診率向上を目指す。
② 食育の推進	食育推進を目的とした研修会など受講	食育推進を目的とした研修会など受講（予定）	研修会などで得た知識の活用、周知などを充実させる。
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	埼玉歯主 成人歯科保健研修会など受講	埼玉歯主 成人歯科保健研修会など受講（予定）	研修会などで得た知識の活用、周知などを充実させる。
④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	桶川北本伊奈地区医師会立准看護学校 禁煙教育講義及び歯と口の健康週間事業等での講演（6月2日）	桶川北本伊奈地区医師会立准看護学校 禁煙教育講義及び歯と口の健康週間事業等での講演（6月29日）	今後も継続して講演などで周知していく。
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	埼玉歯主 高齢者歯科保健研修会など受講	埼玉歯主 高齢者歯科保健研修会など受講（予定）	今後も継続して関係機関との連携強化を目指す。
⑥ 健康づくり支援のための人材育成	歯科医師会地域保健部での若手歯科医師の育成	歯科医師会地域保健部での若手歯科医師の育成	継続した歯科医師会での若手歯科医師の育成および登用

薬剤師会

【鴻巣薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	11/20鴻巣市いきいき健康チェックにおける糖尿病簡易測定（46名）	4/23鴻巣市薬剤師会市民セミナー（鴻巣市共催） 11/19鴻巣市いきいき健康チェックにおける糖尿病簡易測定（64名を予定）	新型コロナウイルス感染症で一時期停滞を来すこともあったが、鴻巣市と共同での事業は粛々とこなすことが出来た。

【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	11月6日 健康まつり（薬剤師会員有志）骨密度測定、握力測定、SpO2測定、お薬相談等：150名参加	11月5日 同左開催予定	薬学生も巻き込んで住民への啓発活動の継続を行う。来場者増加のための開催場所の再検討を行う。
⑥ 健康づくり支援のための人材育成	上尾市健康づくり推進協議会への委員参加	同左	薬剤師の観点から意見を提言する。

【北本市薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	コロナ禍のため北本まつり中止・未実施 お薬相談、健康相談	北本まつり参加 お薬相談、健康相談	北本まつり開催時は参加しお薬相談、健康相談を実施した。

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	・管内保健事業担当者会議の開催 6月8日開催 17名出席 ・保健指導実務者研修会 3月6～17日オンデマンド配信 51回再生	・管内保健事業担当者会議の開催 （管内市町ヒアリング訪問） ・働き盛り世代の健康づくり支援研修会 12月頃開催予定	特定保健指導実施率が低い。糖尿病重症化予防事業を管内全市町で実施しているが参加者が少ない。効果的な実施に向けて職域を含めた取組が必要。
② 食育の推進	①給食施設研修会の実施 資料提供：6月10日 対象施設 362施設 研修会：2月3日開催 54名参加 オンデマンド配信（2/15～3/10） ②栄養関係団体支援 総会 11名 研修会2回開催（9月27日19名、12月23日27名参加） 講義 1回 12月12日開催 6名	①給食施設研修会の実施 6月：衛生講習会 12月頃開催予定：摂食・嚥下 ②栄養関係団体支援 ・食生活改善推進員協議会 ・地域活動栄養士会	集合型の研修会だけでなく、ICTを活用した研修会を実施し、受講機会の拡大を図った。栄養・健康づくりについての関係機関との連携、情報提供の場として研修会・講習会の充実に努める。
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	①重症化予防対策事業 ・会議 6月8日開催 17名出席 ・保健指導実務者研修会 3月6～17日オンデマンド配信 51回再生 ②栄養関係団体支援 総会 11名 研修会2回開催（9月27日19名、12月23日27名参加） 講義 1回 12月12日開催 6名	①重症化予防対策事業 会議 1回開催予定 研修会12月頃開催予定 ②栄養関係団体支援 総会 1回 名参加 合同研修会 1回開催予定 養成支援 1回実施予定	集合型の研修会だけでなく、ICTを活用した研修会を実施し、受講機会の拡大を図った。栄養・健康づくりについての関係機関との連携、情報提供の場として研修会・講習会の充実に努める。
④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	①受動喫煙防止対策実施施設の認証 23施設 ②受動喫煙防止対策に関する相談等対応 36件	①受動喫煙防止対策の周知・啓発 会議 1回開催予定 ②受動喫煙防止対策に関する相談等対応（随時）	商工会議所等関係機関に周知し、普及啓発を図った。禁煙対策・受動喫煙防止対策を推進するにあたって、人員不足である。
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	・管内保健事業担当者会議の開催 6月8日開催 17名出席	・管内保健事業担当者会議の開催 （管内市町ヒアリング訪問）	管内市町ヒアリング訪問、担当者会議等を実施し、関係各課との連携により、情報共有の機会を設けることができた。
⑥ 健康づくり支援のための人材育成	①健康長寿サポーター養成講座の開催 4回 計14名養成 ②食生活改善推進員合同研修会の開催 2回開催（9月27日19名、12月23日27名参加）	①健康長寿サポーター養成講座の開催 ②栄養関係団体支援	集合型の研修だけでなく、ICTを活用した研修会を実施し、受講機会の拡大を図った。今後も参加者のニーズにあわせ開催方法、内容等検討する。

第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.2）

重点取組	親と子の保健医療対策
目標	安心できる妊娠・出産・育児への支援及び子供たちが等しく愛護され、心身ともに健やかに育つ、親と子への一貫した保健医療対策を充実強化します。
実施主体	市町、児童相談所、学校、医師会、歯科医師会、保健所等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	妊婦健康診査受診者数 延べ 8879人 産婦健康診査受診者数 539人 乳幼児健康診査受診者数 2346人（受診率98.9%） 5歳児健診・相談 39人	妊婦健康診査 産婦健康診査 乳幼児健康診査 5歳児健診・相談	妊娠届出時に助産師・保健師による面談を行い支援の必要な方に早期から関わりを持つことが出来ている。 乳幼児健診については未受診者への受診勧奨を行い高い受診率を維持している。
② 小児期の心の健やかな発達の促進	こどもの心の相談 24回/年 62人 5歳児健診 39人	こどもの心の相談 5歳児健診 年間9回（36人）実施予定。 医師・臨床心理士・保健師・管理栄養士、保育士で対応。就学に向けて教育支援センターと連携を図っている。	民間療育施設も増えてきており、施設との連携をとる機会が増えてきている。
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	市内の小中学校で思春期防煙・薬物乱用防止教室を開催。 小学校13校 中学校3校で実施 2130人に実施	市内の小中学校で思春期防煙・薬物乱用防止教室を開催。 小学校14校 中学校3校で実施予定 市内女子高での食育 高校生の1食分のエネルギー量、朝食、望ましい間食についてのフードモデルの展示を行った。	他の学校行事との日程調整が困難なことがある。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	小児救急電話相談番号の周知をした。	小児救急電話相談番号の周知をする。	小児救急電話相談の番号を周知した。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	保育所（園）及び児童発達支援センター一年2回の歯科健診実施。歯と口の健康週間講演会を登戸保育所で実施。 ・保健だよりにて歯と口の健康についての情報の発信。 ・小学校における週1回のフッ化物洗口の実施率 100%（18/18校） 歯と口の健康週間講演会の開催。登戸保育所の児童92名に実施	保育所（園）及び児童発達支援センター一年2回の歯科健診実施。歯と口の健康週間講演会を鎌塚保育所で実施。 ・保健だよりにて歯と口の健康についての情報の発信。 ・小・中学校における週1回のフッ化物洗口の実施 歯と口の健康週間講演会の開催。	健診にて歯及び口腔状態（かみ合わせ等）を健診後当日のうちに保護者に通知し早急に受診し対処することができている。健診医より虫歯の児童の数が少ないとの言葉も聞かれている。しかし、ここ数年間はコロナ禍であったため昼食後の歯磨き指導を行っていない。今後、歯磨き指導を開始するにあたり保育現場の意見や感染予防、歯磨き時のケガの防止も念頭に置きながら食後の指導を再開したいと考えている。 ・フッ化物洗口事業の実施において、県歯科医師会からの資料購入費補助がなくなる3年目以降（R4小学校開始、R5中学校開始）の事業継続が課題として挙げられる。 令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

【上尾市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	4か月児健康診査：年26回実施 受診率96.1% 1歳6か月児健康診査：年26回実施 受診率95.6% 3歳児健康診査：年28回実施 受診率91.6% 10か月児健康相談：年12回実施 受相率46.3% 乳幼児健康相談：年12回実施 受相児数1281人	健診未受診者への対応 新型コロナウイルス感染防止に留意し、安全・安心に集団健診を実施する。	受診率を維持し、新型コロナウイルス感染症対策として1回の受診者数を調整しながら実施した。また、未受診者への受診勧奨、電話や訪問による確認を継続して行った。
② 小児期の心の健やかな発達の促進	ことばの遅れや、情緒・行動に心配のある幼児に対して、心理・言語の専門スタッフによる、ことばとこころの相談を実施。 ことばとこころの相談：年27回実施 受相児数443人	専門職（心理士、言語聴覚士等）の確保 就学へのつなぎ、関係機関との連携	相談希望者が増加傾向にあり、相談待ちの期間が長くなっており、相談回数を増やす検討を行った。ことばとこころの相談 年24回実施
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	・各校薬物乱用防止教室1回以上実施 ・小5から中3にかけ、保健分野において「思春期の心」「エイズ」「喫煙」「飲酒」「薬物乱用」「性への関心と行動」「性感染症」に関する学習を実施	・各校薬物乱用防止教室年1回以上実施 ・小5から中3にかけ、保健分野において、思春期の健康教育に関わる各内容を遺漏なく実施	コロナ対応により、薬物乱用防止教室が実施できなかったこともあったが、体育の保健分野における学習で遺漏なく実施することができた。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	平日夜間及び休日急患診療所の開設（平日夜間：244日、休日：71日）	平日夜間及び休日急患診療所の開設（平日夜間：244日、休日：72日）	平日夜間及び休日急患診療所の開設（受付時間：平日夜間：20時～21時30分、休日：9時～11時30分、13時～15時30分）
⑤ 歯科保健医療対策の充実	歯科健診（プレママ教室）年6回実施 受診人数162人 フッ素塗布 年12回実施 塗布者数461人	歯科健診（プレママ教室）年6回実施 フッ素塗布 年12回実施	事業対象者に対し、適切な周知案内を行い利用につなげていく。

【桶川市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	A：4か月児健診受診者395名 1歳6か月児健診受診者450名 3歳3か月児健診受診者472名 7・10か月児相談来所者780名 子育て相談会（実23名、延50名） こんにちは赤ちゃん訪問事業把握率100% R5年3月～出産・子育て応援事業開始 B：こどもと家庭なんでも相談 72件 いつでも子育てメール相談 10件	A：4か月児健診 1歳6か月児健診 3歳3か月児健診 7・10か月児相談 子育て相談会 こんにちは赤ちゃん訪問事業 出産・子育て応援事業 B：こどもと家庭なんでも相談 いつでも子育てメール相談	新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令を受け、令和2年3～5月乳幼児健診・相談事業を中断したが、感染防止対策に努めながら再開した。令和5年3月～出産・子育て応援事業を開始し、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てできるように、伴走型相談支援の充実を図る。
② 小児期の心の健やかな発達の促進	すこやか相談の利用者2名（延人員）	すこやか相談の実施。	育児不安を抱える保護者は増えているが、相談対応できる臨床心理士は1名のみであり、今後の専門職の確保が難しい。
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	A：小4「からだの発育・発達」年4時間、小5「心の健康（思春期は誰もが悩むもの等）」年8時間、小6「病気の予防（薬物乱用・喫煙・飲酒等）」年8時間実施 B：市内小中学校の相談業務に係る教職員を対象にゲートキーパー養成研修会を開催（参加者33名） C：「子どもたちの身近にいる大人が学ぶ“性と生”」男女共同参画セミナーを開催（参加者40名）	A：令和4年度の取り組みと同様	小・中学生向けの健康教育の内容の充実を図り継続していく必要がある。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	救急電話相談（#7119）の案内を、毎月広報、ホームページに掲載し、周知を図った。「こどもの救急ミニガイドブック」を生後1～2か月頃に配布し、正しい受診方法の普及啓発を行った。	救急電話相談（#7119）の案内を、毎月広報、ホームページに掲載し、周知を図る。「こどもの救急ミニガイドブック」を生後1～2か月頃に配布し、正しい受診方法の普及啓発を行う。	今後も継続した周知・啓発活動が必要である。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	妊婦歯科健診を実施。受診者数101名。 1歳6か月児健診、3歳3か月児健診で歯科健診・歯科指導を実施。受診者数450名（1歳6か月児健診）、472名（3歳3か月児健診）。1歳～就学前までフッ素塗布を実施。受診者数216名。	妊婦歯科健診、1歳6か月児健診と3歳3か月児健診での歯科健診・歯科指導、フッ素塗布を実施。	妊婦歯科健診の受診率を向上させる必要がある。乳幼児に向けて、むし歯等の健康格差を縮小させる必要がある。

【北本市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	【健康診査等】 ・妊婦健康診査 延3,950人 ・新生児聴覚検査 300人 ・産婦健康診査（新規）290人 ・乳児健康診査 24回 326人 ・1歳6か月児健康診査 24回 382人 ・3歳児健康診査 12回 396人 【健康相談等】 ・利用者支援事業 面接576件 電話相談 530件 ・産前サポート事業 24回 ・産後ケア事業 24回 ・マタニティセミナー 14回 ・オンラインプレママセミナー 3回 ・9か月児育児相談 24回 269人 ・乳幼児育児相談 12回 172人	【健康診査等】 ・妊婦健康診査 ・新生児聴覚検査 ・産婦健康診査 ・乳児健康診査 24回 ・1歳6か月児健康診査 24回 ・3歳児健康診査 24回 ・屈折検査（新規） 【健康相談等】 ・利用者支援事業面接・電話相談 随時 ・産前サポート事業 24回 ・産後ケア事業 24回 ・プレママセミナー 14回 ・オンラインプレママセミナー 3回 ・9か月児育児相談 24回 ・乳幼児育児相談 12回	【健康診査等】 ・産婦健康診査事業を新たに開始。産院と連携をして、産後の母親の心身の状況を把握し、早期の支援につなぐことができた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、乳幼児健診を中止せざるを得ない時期があった。状況をみながら再開し、感染予防対策を行いながら実施した。 【健康相談等】 新型コロナウイルス感染症の影響により、相談事業やセミナーの需要が増えたため、受け入れ人数の調整や感染対策を行いながら実施した。
② 小児期の心の健やかな発達の促進	・1歳6か月児健診事後相談 11回 33人 ・1歳6か月児健康診査心理相談（必要時） ・3歳児健康診査心理相談（必要時）（新規）	・1歳6か月児健診事後相談 12回 ・1歳6か月児健康診査心理相談（必要時） ・3歳児健康診査心理相談（必要時）	1歳6か月児健診事後相談後に、療育が必要な児を療育へつなぐことができた。
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	・健康・安全に係る指導は、小・中学校全校で実施。 ・生徒の発達の段階、自殺の多く発生しやすい時期を踏まえた指導を、学校や学年、学級の実態に応じて行った。	児童生徒の発達の段階、自殺の多く発生しやすい時期を踏まえ学校や学年、学級の実態に応じて行う。	健康に関する指導の他、自殺の多く発生しやすい時期をとらえながら、実施することで、思春期の保健対策を実施できた。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	・出生時、乳児健診時の個別周知実施。 ・乳児健康診査で「#8000」を知っている保護者の割合 84.7%	出生時、乳児健診時の個別周知。	時機をとらえ、保護者に対し周知が図れた。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	・妊婦歯科健診 114人 ・1歳6か月児歯科健診 382人 ・3歳児歯科健診 392人	・妊婦歯科健診 通年 ・1歳6か月児歯科健診 24回 ・3歳児歯科健診 24回	【妊婦歯科健診】 乳児健診時にアンケートを実施し、市のクーポン券を使用した健診と、個人受診を含めると妊娠中に67%受診していた。令和1年度から市のクーポン券を利用した妊婦歯科健診も増加傾向である。

【伊奈町】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	乳児健診279名、1.6歳児健診269名 3歳児健診315名、乳児相談12回193名 育児相談99名、幼児相談43名	乳児健診、1.6歳児健診、3歳児健診、乳児相談、育児相談、幼児相談 全て月1回実施	各種相談のなかで栄養指導等を行うことで、育児に悩む母親の不安を取り除くことができた。
② 小児期の心の健やかな発達の促進	すこやか子育て見守り事業（4～5歳児で集団に所属がない子とその保護者への支援）を実施した。	すこやか子育て見守り事業（4～5歳児で集団に所属がない子とその保護者への支援）を実施予定。	事業内で身体測定を行い、子どもの成長について確認することができた。
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	健康増進課としての実施はなし。学校授業の一環として実施。	健康増進課の事業として実施せず、学校授業の一環として実施予定。	授業の一環として中学校で11時間、小学校で2時間取り入れた。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	小児初期・二次救急医療の円滑な実施	小児初期・二次救急医療の円滑な実施	小児二次救急医療については、令和4年1月から令和5年3月まで空白日となっていた日曜夜間の診療を実施できた。小児初期・二次救急ともに空白日が存在しているため、引き続き診療体制の構築に努める。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	妊婦歯科健診 受診者36名 幼児向けフッ素塗布 塗布者114名	妊婦歯科健診及び幼児向けフッ素塗布を2ヶ月に1回実施。	虫歯になりやすい妊婦や幼児に対し、歯科医師や歯科衛生士が適切な指導を行った。

医師会

【北足立郡市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	3才児健診でのスポットビジョンスクリーナー導入	同左	弱視の早期発見と対応。育児相談、栄養指導の充実。
② 小児期の心の健やかな発達の促進	5才児健診	同左	発達障害の早期発見、就学児支援。
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	コロナ禍での起立性調節障害増加への対応	同左	同左
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	2次救急	日曜日18:00～翌8:00の受入は、北里大学メディカルセンターから埼玉医科大学総合医療センターの受入協力に変更。	集約化により2次救急体制を構築。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	フッ化物洗口事業（小学校）	フッ化物洗口事業（中学校）	むし歯予防に努めた。

【上尾市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	医師派遣 ・4か月児健康診査（26回実施） （派遣医師…実人員 20人/年、延人員127人/年） （受診者/受診対象者…1463人/1522人） ・1歳6か月健康診査（26回実施） （派遣医師…実人員 16人/年、延人員 78人/年） （受診者/受診対象者…1602人/1676人） ・3歳児健康診査（28回実施） （派遣医師…実人員 18人/年、延人員 84人/年） （受診者/受診対象者…1678人/1832人）	予定医師派遣回数 ・4か月健康診査 24回 ・1歳6か月健康診査 24回 ・3歳児健康診査 28回	新型コロナウイルス等の感染防止に留意し、安全・安心に集団健診を実施する。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	・平日夜間及び休日急患診療所 【平日夜間】 診療日数 244日/年 ※内科医 …実人員30人/年、延人員199人/年 ※小児科医…実人員 7人/年、延人員 45人/年 （小児科患者数） 191人/年 【休・祝日】 診療日数 71日/年 ※内科医 …実人員24人/年、延人員63人/年 ※外科医 …実人員20人/年、延人員71人/年 ※小児科医…実人員 7人/年、延人員21人/年 （小児科患者数） 704人/年 ・産科休日診療（4医療機関による輪番制） 診療日数（休・祝日）…71日/年	・平日夜間及び休日急患診療所 （予定診療日数）…平日夜間244日/年、休・祝日72日/年 ・産科休日診療（4医療機関による輪番制） （予定診療日数）…休・祝日72日/年	・平日夜間及び休日急患診療所の運営により、適正受診を推進した。 ・輪番制の産科休日診療により、休・祝日の患者受け入れを補完した。

歯科医師会
【北足立歯科医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	各市町乳幼児健康診査・相談事業へ歯科医師・歯科衛生士派遣	各市町乳幼児健康診査・相談事業へ歯科医師・歯科衛生士派遣	今後も継続して各市町乳幼児健康診査・相談事業の充実を目指す。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	各市町乳幼児健康診査へ歯科医師・歯科衛生士派遣	各市町乳幼児健康診査へ歯科医師・歯科衛生士派遣	各市町乳幼児健康診査へ歯科医師・歯科衛生士派遣を継続して行う。

保健所
【鴻巣保健所】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	<ul style="list-style-type: none"> 管内市町母子保健担当者会議の開催 5月13日開催 11名参加 「管内市町母子保健事業一覧」を作成し情報共有 母子保健担当者資質向上のための研修会 11月28日開催 18名参加 	<ul style="list-style-type: none"> 集合形式で年3回開催予定（5月、11月、12月）。5月は「管内母子保健事業一覧」を更新し、情報共有と意見交換。11月、12月は、相談受理と記録に関する研修を予定。 	社会情勢の変化に対応し母子保健体制等の充実を図る必要がある。管内市町の事業一覧を作成、共有し情報交換を行うことにより、母子保健体制の充実を図ることができた。
② 小児期の心の健やかな発達の促進	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心の健康相談の実施 相談件数延べ 17件 個別相談 面接：11件 電話：42件 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心の健康相談の実施（月1回） 管内市町保健分野、教育分野への周知 	子どもの心の問題は多岐にわたり、対応できる医師、心理士の増加が望まれる。
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害に関する研修会 1月31日開催 42名参加 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校に関する関係者向け研修会（1月） 	新型コロナウイルス感染症流行による子どもたちへの影響を踏まえ、保健・福祉・教育機関等向けに研修会を開催している。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県中央地区第二次救急医療圏救急医療対策協議会の書面開催（R5.2.8） 	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県中央地区第二次救急医療圏救急医療対策協議会の開催（R6.2開催予定） 	救急医療対策協議会を開催し意見交換、情報共有を行った（R2、R3はコロナ対応のため資料配布のみ）。小児二次救急の課題としては、日曜夜間、祝日夜間、年末年始が空白時間となっていることが挙げられる。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> 保健所歯科保健推進会議 12月8日開催 30名参加 口腔ケア研修会 11月17日開催 36名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ①保健所歯科保健推進会議 開催予定 ②口腔ケア研修会 1回開催予定 	管内市町間での歯科保健に対する格差を縮めるため、会議での情報共有、研修会を実施した。

第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.3）

重点取組	心の健康対策の推進
目標	住民誰もが安心して暮らしていける相談・支援体制を整備します。また、精神障害者が安心して自分らしく暮らせる地域づくりを推進します。
実施主体	医療機関、訪問看護ステーション、保健所、市町 等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	ひきこもりや精神科未受診の方から窓口等で相談を受けた際の困難事例について、情報共有し、支援に取り組んだ。	引き続き情報共有し、支援に取り組む。	ひきこもりや精神科未受診の方のためのリーフレットを作成した。また、窓口等で相談を受けた際の困難事例について、情報共有し、支援に取り組んだ。
② 精神医療対策の充実	こころの相談を実施し、必要な方を医療機関へつなぐ。年20回実施し、47名の市民が利用。	こころの相談を実施し、必要な方を医療機関へつなぐ。年20回実施予定	R4年度から相談実施回数を年19回から20回へ変更。月によって予約状況に差があり、予約が入らない時の対応が課題。
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	鴻巣・北本地域自立支援協議会の精神障がい者支援部会を年に3回実施した。	鴻巣・北本地域自立支援協議会精神障がい者部会主催の「精神障がい者の明るい未来のために」フォーラムを開催予定。	鴻巣・北本地域自立支援協議会において精神障害部会を新たに設け、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議も開始することができた。
④ 認知症ケア	・市内に5名の認知症地域支援推進員を配置。 ・推進員による認知症相談等1,844件（うちオレンジダイヤル54件） ・認知症カフェの開催35回 ・若年性認知症本人のつどい開催6回 ・初期集中支援チームによる支援5件 ・チームオレンジ登録者数38人	昨年度に引き続き、認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業（チームオレンジ）により、認知症サポーターのボランティア活動を通して認知症の人や家族の支援に取り組む。 推進員による認知症相談、認知症カフェの開催、若年性認知症本人のつどい開催、初期集中支援チームによる支援	令和3年度よりチームオレンジの立ち上げを行い、オレンジカフェの運営などをボランティア活動として位置づけた。 認知症地域支援推進員やオレンジダイヤルが地域に周知されたことで多くの認知症相談等が寄せられるようになった。

【上尾市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	・こころの健康相談 10回25人 ・こころの悩み相談 30回62人 ・いのちのオンライン相談 WEB窓口44件 LINE窓口749件	・こころの健康相談 10回 ・こころの悩み相談 30回 ・いのちのオンライン相談 WEB窓口 LINE窓口（月1回 21：45～22：45）	・予約制の相談は予約が先まで埋まり、キャンセル待ちが発生している。 ・休日・夜間の相談に対応出来る日が少ない。
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	上尾市主催精神障害者ピアサポート講座（全3回）をリモート形式にて実施。	リモート形式では参加者相互の交流は深まりにくかったため、令和5年度は対面形式での実施を予定している。	ピアサポートは、障害者相互の支えあいの仕組みであり、参加者の相互理解が不可欠。コロナ禍により直接の対面ができない期間もあったが、対面形式に戻して実施をしていきたい。
④ 認知症ケア	(1) 認知症初期集中支援チーム 新規支援件数：14件 (2) 認知症サポーターステップアップ講座 開催数：2回 (3) 本人ミーティング 認知症初期集中支援チーム(主催)：4回 (4) 徘徊高齢者等探索サービス 利用者数：257人 探索依頼数：2691件	(1) 初期集中支援チームの紹介を地域サロン等に対して実施。 (2) 認知症サポーターステップアップ講座を開催。 (3) 認知症初期集中支援チームが主催での本人ミーティングを開催。 (4) 引き続き、徘徊高齢者等在宅で介護する者に位置探索端末機を貸与し、身体的または精神的負担の軽減を図るとともに、さらに有効的な端末機の導入の検討を行う。	(1) チームの活動について普及啓発を図るため、チームで対応した事例をまとめた事例集を市内の地域包括支援センター、居宅支援事業所に配布。事例集を配布（普及啓発）したことで相談件数が増加。 (2) 開催回数、参加人数は増加傾向にある。今後はチームオレンジ立ち上げに向け、積極的に開催をしていく必要がある。 (3) 若年性認知症の患者本人・家族の情報が少ない。若年性認知症の患者本人・家族と家族会等との連携が必要。 (4) H30からR4までの平均新規利用者数は9.6人で、年間延べ利用者数も250～300件を推移しており、全体として伸び悩む結果となった。今後、利用者増に向けて、負担額の見直しのほか、新たな探索サービスについて引き続き検討する必要がある。

【桶川市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	基幹相談支援センターや近隣市町と合同で地域自立支援協議会を2か月に1回開催し、地域課題の整理や多機関連携の在り方を検討する。	地域自立支援協議会を2か月に1回開催	地域自立支援協議会を開催し、多機関と連携し地域課題の整理を行った。
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	退院後速やかに介護サービスを使う必要がある場合、入院中に介護認定調査を受けるようにする等、病院の相談員から支援がある。入院中の主治医より退院後のかかりつけ医に情報提供がなされ、在宅に戻っても、医療・介護のサービスを切れ目なく利用できている。 また、令和4年7月に北足立地区入退院支援ルールが完成した。	令和4年度の取組みと同様 入退院支援ルールの周知、運用、運用後の振り返りの実施	令和4年7月に北足立地区入退院支援ルールが完成し、1年が経過したため、運用状況について関係機関へのアンケート調査を実施し、運用状況を確認していく予定である。

<p>④ 認知症ケア</p>	<p>A：認知症の基本的知識や認知症の人への対応の仕方などを学び、職場や地域で認知症の人や家族を見守る応援者となる認知症サポーター養成講座を実施。 実施回数：26回 養成者数：563人</p> <p>B：徘徊者見守りステッカー交付事業(ステッカーを配布し、利用者情報を警察・消防に提供) 年度中利用者：55名(年度途中で辞めた人も含む)</p> <p>C：徘徊高齢者等家族支援サービス事業(GPS機能付機器の貸出し) 年度中利用者：19名(年度途中で辞めた人も含む)</p> <p>D：認知症初期集中支援チーム 認知症の人とその家族を支援するため、認知症サポート医、医療職及び介護職がチームとなって、認知症が疑われる人への早期診断、認知症の人への適切な医療・介護サービスにつなぐ支援等を実施。支援件数12件 脳の健康度検診(認知症検診。70及び75歳の市民対象)を受診して「要精検」となった人へのフォローも担当。対象者24名</p> <p>E：おれんじカフェ(認知症カフェ)の開催 認知症の人や家族、地域の人が集い、認知症の人と触れ合って病気の理解を深めたり、認知症介護の情報交換が出来る場 9か所(コロナ禍で休止した)</p> <p>F：認知症ケア相談室 (令和2年6月より開始事業) 在宅で認知症の人を介護している家族に対し、認知症ケアの具体的な方法の相談を受ける。 30件</p>	<p>令和4年度の取り組みと同様</p>	<p>A：令和2年度以降、コロナ禍のため、講座を中止していた時期もあったが、人数を絞る等して徐々に再開してきた。 市民向け講座については周知を徹底しながら継続する。小学校向けの講座については、市内7校全てで実施できるよう、校長会で依頼する。</p> <p>B、C：使用する人が増えることが目的ではないが、認知症等で徘徊の心配のある方に、CMやおれんじ新聞(市の認知症施策に関する新聞)を通して周知に努める。</p> <p>D、F：人数が増えることが目的ではないが、必要とする人が利用できるよう、継続して周知に努める。</p> <p>E：主催者(開催場所)がグループホーム中心であるため、コロナ禍で中止が続いていた。 令和5年8月に主催者が集まり、開催方法に工夫をしながら、10月から再開することとなった。 広報等で周知し、認知症サポーターステップアップ講座修了者等、カフェに関わる人も増やしていく。</p>
----------------	---	----------------------	---

【北本市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期(H30~R5年度)の取組総括
<p>① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健相談 随時 こころの相談 年6回 暮らしとこころの総合相談 年2回 障がい福祉に関する相談(随時) 相談支援事業の実施 <p>生活支援センター夢の実、生活支援センターしゃろむ、相談支援事業所あすなろに業務委託。 精神障がい者からの相談実績：171人(実人数)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健相談 随時 こころの相談 年6回 暮らしとこころの総合相談 年3回 <p>障がい福祉に関する相談(随時) 相談支援事業の実施(委託)</p>	<p>精神保健相談や専門家による相談を継続的に実施した。金銭問題等の他の問題から精神保健分野の対応が必要となる場合が多いため、相談体制の強化及び他分野との連携が必要である。</p> <p>市と相談支援事業者が連携し、市内の相談支援体制の強化に取り組んだ。</p>
<p>③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実</p>	<p>精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場を全3回実施。 (事例検討、当事者のリカバリーストーリー講演会等を実施)</p>	<p>精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場を全3回実施予定。(地域課題の抽出等を予定)</p>	<p>精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場を活用し、地域のネットワークの構築、連携・機能強化に取り組んだ。</p>
<p>④ 認知症ケア</p>	<p>地域包括支援センターの主催、運営により、オンラインサロン&介護者サロンきたもとを10回開催。</p>	<p>地域包括支援センターの主催、運営により、オンラインサロン&介護者サロンきたもとを10回開催。</p>	<p>参加者が利用しやすいよう、開催場所、開催頻度を増やしていく必要がある。</p>

【伊奈町】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期(H30~R5年度)の取組総括
<p>① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化</p>	<p>対象者への訪問巡回指導の実施 対象者1名 訪問回数3回</p>	<p>対象者への訪問巡回指導の実施</p>	<p>療養上の保健指導が必要な者及びその家族に対し、看護師や保健師が健康に関する問題を総合的に判断し、必要な助言を行った。</p>
<p>② 精神医療対策の充実</p>	<p>「こころの健康相談」月1回 カウンセラーによる面談 延べ44名</p>	<p>「こころの健康相談」月1回実施</p>	<p>相談者の心の健康状態を安定させるとともに、適切な精神保健福祉サービスを案内できた。</p>
<p>③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実</p>	<p>町の社会福祉課、いきいき長寿課、社会福祉協議会等で対象者に対する支援や相談等を実施</p>	<p>前年度に引き続き町の社会福祉課、いきいき長寿課、社会福祉協議会等で対象者に対する支援や相談等を実施する。</p>	<p>本人の状態に応じた専門施設との連携や相談に応じることができる専門員の配置・人材育成が必要ではあるが、各課部署で対象者に対して支援を実施した。 各課、社会福祉協議会等で必要に応じて連携しながら対象者への支援、相談を実施した。また障害者福祉係で出席している自立支援協議会では精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム構築を目的とした部会を設置し医療や保健分野の方と事例検討や実施事業の紹介、研修会の企画を行った。</p>
<p>④ 認知症ケア</p>	<p>本人及び介護家族等の支援のため、「いな見守りONE TEAM事業」を運営</p>	<p>前年度に引き続き啓発活動や事業周知を積極的に行い、事業対象者の検出及び協力者の増加を図る。</p>	<p>いな見守りONE TEAM事業や認知症安心ガイドブックをもとに、認知症支援に取り組んだ。</p>

医師会

【上尾市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
② 精神医療対策の充実	医師派遣 ・心の健康講座 開催回数：1回/年（2日間実施/1回） ※2日間のうち1日だけ医師1人派遣 参加人数：24人 ※医師派遣日の参加者：14人 ・精神科医による心の健康相談 開催回数：10回実施/年 参加延人数：25人/年 派遣医師数：10人/年	医師派遣 ・心の健康講座 1回実施予定/年 ・精神科医による心の健康相談 10回実施予定/年	相談数増加によるキャンセル待ち状態の解消
④ 認知症ケア	認知症初期集中支援チーム業務委託受託 ・実施医療機関名：藤村病院 ・新規支援件数：14件 ・本人ミーティング（認知症初期集中支援チーム主催）開催数：6回/年	認知傷初期集中支援チーム業務委託受託 ・実施医療機関名：藤村病院	・認知症初期集中支援チーム活動についての市民周知。 ・若年性認知症の患者本人・家族の情報不足解消。

歯科医師会

【北足立歯科医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
④ 認知症ケア	・桶川市脳げんき教室へ歯科衛生士派遣 ・認知症研修会など受講	・桶川市脳げんき教室へ歯科衛生士派遣 ・認知症研修会など受講（予定）	研修会などで得た知識の活用、周知などを充実させる。

薬剤師会

【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	入退院支援ルールの完成（上尾市、北足立地区）： 検討委員として参加	・検討参加委員による会員への入退院支援ルールの説明会の開催 ・地域包括ケア研修会への参加：10月予定 ・上尾市地域ケアシステム推進協議会へ委員として参加、年3回開催予定	関係機関との緊密な連携強化により適正運用を図る。
④ 認知症ケア	薬剤師会認知症対策向上研修会へのWEB参加：8、11月実施	同左：10月予定	認知症の人に対応できる薬剤師の育成と増員を図る。

【桶川市薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	5か所の地域包括ケア会議が年に数回開催された。	5つの地域包括ケア会議に参加してより良いアドバイスの向上に努めたい。	—

【北本市薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	北本市主体の会議に参加	各関係機関との連携	依頼があれば各会議に参加

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	・面接 実 72人 延 133人 ・訪問 実 69人 延 126人 ・電話 実 436人 延 2475人	・住民や関係機関からの相談に随時対応し、必要に応じて電話、面接、訪問による支援を行う。また、関係機関からの要請に積極的に応じ同行訪問や事例検討会に参加し連携を図る。	本人、家族が地域で安心して生活できるよう相談体制の充実を図ってきた。コロナ禍においては相談・訪問は減少したが、関係機関との連携を図り相談支援体制の構築を図るとともに相談技術の向上を目指した。
② 精神医療対策の充実	・精神障害者支援地域協議会（調整会議） 53回 延 242人 ・精神障害者支援地域協議会（代表者会議） 1回 ・地域支援体制構築会議 1回 ・地域包括ケアシステム構築推進研修会 1回	・精神障害者支援地域協議会（調整会議） 随時 ・精神障害者支援地域協議会（代表者会議） 1回 ・地域支援体制構築会議 1回 ・地域包括ケアシステム構築推進研修会 1回	必要時に適切な医療を円滑に利用できるように、日頃から保健・医療等の関係機関同士の関係づくりを図ってきた。精神科救急事例においては管内の医療機関で対応できる件数が増加した。
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	・精神障害者支援地域協議会（調整会議） 53回 延 242人 ・精神障害者支援地域協議会（代表者会議） 1回 ・地域支援体制構築会議 1回 ・地域包括ケアシステム構築推進研修会 1回 ・精神保健福祉法に基づく申請通報 139件 ・措置入院者数 55人 ・措置フォローカンファレンス 延 114件	・精神障害者支援地域協議会（調整会議） 随時 ・精神障害者支援地域協議会（代表者会議） 1回 ・地域支援体制構築会議 1回 ・地域包括ケアシステム構築推進研修会 1回 ・精神保健福祉法に基づく申請通報 150件 ・措置フォローカンファレンス 延 120件	措置入院者が入退院を繰り返すことなく地域生活が送れるよう訪問面接等を実施した。また、地域包括ケアシステム構築を目指し関係機関との調整会議等を開催した。今後は更に退院後支援と地域包括ケア体制の充実を図り地域共生社会の実現を図る。
④ 認知症ケア	・上尾市認知症初期集中支援チーム検討委員会 ・鴻巣市認知症初期集中支援チーム検討委員会 ・認知症医療連携協議会 新型コロナウイルス感染拡大のため欠席	・上尾市認知症初期集中支援チーム検討委員会 ・鴻巣市認知症初期集中支援チーム検討委員会 ・認知症医療連携協議会 参加し連携強化	「認知症対策基本法」成立のもと、認知症があっても地域で安心・安全に生活できるよう、関係機関の連携により支援体制の充実を図ってきた。

第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.4）

重点取組	在宅医療の推進
目標	地域の関係機関・団体が連携を強化し、誰もが安心して住み慣れた地域で在宅療養できる支援体制を構築します。
実施主体	市町、医師会、医療機関、地域包括支援センター、保健所等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	在宅医療・介護連携推進会議 3回 ワーキンググループ4回	在宅医療・介護連携推進会議 3回 ワーキンググループ4回	様々な事業を通して医療と介護の連携を図っている。 医療と介護の連携のほか、令和5年度からは救急との連携を検討
② 在宅歯科保健医療体制の充実	地域在宅医療推進窓口のご案内の配布 訪問歯科診療対応医療機関一覧の配布	地域在宅医療推進窓口のご案内の配布 訪問歯科診療対応医療機関一覧の配布	歯科医師会からの情報提供により、訪問歯科診療対応医療機関を市民に配布している。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	鴻巣地区在宅医療連携センターによる相談業務 令和4年度 実績78件	鴻巣地区在宅医療連携センターによる相談業務 令和5年度実績（8月まで）22件 ACP普及啓発（通いの場での講話）	感染症の流行時は相談件数も少なかったが、令和4年度からは相談件数も増えてきている。
④ 人材育成	多職種研修 令和5年1月21日 参加者数 27名 講義内容「多職種のACP～もしバナカードを使って～」 講師：埼玉県立がんセンター 緩和ケア認定看護師 岸桜氏	令和6年1～2月頃実施予定	在宅医療・介護連携推進事業の委員の意見により、研修内容は決めている。令和5年度も市民向けだけでなく多職種にもACPの研修を行う予定。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	鴻巣・北本地域自立支援協議会管内の事業所の防災計画についてアンケートを実施した。	鴻巣・北本地域自立支援協議会管内の災害時の支援について情報交換をしていく。	鴻巣・北本地域自立支援協議会における協議体として「災害支援プロジェクト」を発足し、協議会管内の事業所や市の災害対応について学んだ。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	地域共生社会の実現に向け、市民の複雑化・複合化した課題に対応する包括的な支援を実施する担当として、福祉課内に地域共生担当を設置。 R4年度実績 アウトリーチ 1313件 多機関協働 509件	・第4次鴻巣市地域福祉計画と重層的支援体制整備事業実施計画及び成年後見利用促進計画を一体的に策定 ・鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町及び上尾市の主催による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」の開催	・鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町及び上尾市の主催による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」 R3.4.19開催 ・令和4年度福祉課地域共生担当設置

【上尾市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	(1) 上尾市医師会、上尾中央総合病院、ケアマネの会、市をメンバーとして医療介護連携会議を毎月1回（第4木曜日）開催。多職種連携を強化するため、2月17日に医療・介護従事者を対象とした研修等（グループワーク）を開催した。 (2) 令和4年度末に入退院支援ルールを策定。 (3) 専門職との連携を強化し、ケアマネージャー等の資質向上を目指すため、理学療法士、薬剤師、管理栄養士など多様な専門職の助言を受けながらケアプランを検討する「自立支援型地域ケア会議」を開催した。	(1) 医療・介護従事者を対象とした研修会を7月21日に実施。 (2) (1)の研修会や主任ケアマネージャー向け研修、市ホームページ等で入退院支援ルールについて周知を行う。 (3) 令和3年度からは各地域包括支援センターで開催。年13回で開催予定。	研修会や連携会議を通じて、各専門職種との顔の見える関係づくりが進んだ。また、研修会を通じて、医療・介護職内で入退院支援ルール等の共有をすることが出来た。しかし、医療職、介護職の中で関心に差があるという課題がある。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	(1) 在宅医療連携拠点（上尾市医師会在宅医療連携支援センター）が市民、医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。相談件数：318件 (2) 高齢者が自分の情報を家族や支援者と情報共有するための手帳（わたしノート）を作成し、市民に配布。（R4年度4000冊増刷）配布数：1,495冊	(1) 在宅医療に関する情報提供や相談・支援を継続。 (2) 継続して「わたしノート」を市民周知する。また、市民向けの講演会を12月2日に実施予定。	(1) 在宅医療連携拠点では継続した相談・支援が継続できていたため、大きな課題はない。 (2) わたしノートの周知・配布については、コロナ禍で進捗が一度止まってしまった。現在は再開し、周知しているが、在庫が不足している状況や無関心層への働きかけが課題になっている。
④ 人材育成	(1) 多職種連携を強化するため、2月17日に医療・介護従事者を対象とした研修等（グループワーク）を開催した。 (2) 専門職との連携を強化し、ケアマネージャー等の資質向上を目指すため、理学療法士、薬剤師、管理栄養士など多様な専門職の助言を受けながらケアプランを検討する「自立支援型地域ケア会議」を開催した。	(1) 医療・介護従事者を対象とした研修会を7月21日に実施。 (2) 令和3年度からは各地域包括支援センターで開催。年13回で開催予定。	研修会等を通じて、各専門職に入退院支援等に関する共通認識が持てるよう取り組んだ。

【桶川市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	A：北足立地区（鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町）入退院支援ルール作成のために会議の開催 B：地域包括ケア推進協議会の開催 在宅医療・介護連携推進事業について、情報共有、必要事項の協議等を行っている。	A：令和4年度の取組みと同様 入退院支援ルールの周知、運用、運用後の振り返りの実施 B：令和4年度の取組みと同様	A：令和4年7月に北足立地区入退院支援ルールが完成し、1年が経過したため、運用状況について関係機関へのアンケート調査を実施し、運用状況を確認していく予定である。 B：地域包括ケア推進協議会を年に7回程度開催し、情報共有等に努めることができている。
② 在宅歯科保健医療体制の充実	A：必要に応じて、県在宅歯科医療推進窓口の案内を実施。 B：桶川市地域資源マップ（在宅療養マップ）を作成し、その中に歯科医院の情報を掲載。地域包括支援センターや歯科医院、市民へ配布。	A、B：令和4年度の取組みと同様	在宅歯科対応の医療機関を知らない市民や関係機関が多いことから、地域資源マップを活用し、継続して周知していく必要がある。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	A：在宅医療と介護を一体的に提供する体制作りを担う機関として「桶川北本伊奈地区在宅医療連携センター」を設置。退院支援や相談対応などを行っている。 相談件数 58件 B：ACPの普及・啓発として、市が支援している通いの場23団体へ人生会議についての講話を実施。 C：県のACP普及啓発講師人材バンク登録制度を活用し、市民講座を開催。	A、B、C：令和4年度の取組みと同様	A：在宅医療連携センターの相談件数は年々増えてきているが、周知が行き届いていない現状もあるので、広報、介護予防教室等市民が集まる場での周知に努めていく必要がある。 B、C：市が作成した「もしも手帳」を活用し、令和4年度は465人に普及できた。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	在宅の常時呼吸器使用者を対象に人工呼吸器用自家発電機、外部バッテリー（充電器、インバーターを含む）、ポータブル電源（蓄電池）の給付（上限10万円）を令和4年11月～開始（給付件数1件）	令和4年度の取組みと同様	災害時の支援について、今後具体的な検討が必要。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	病院や保健所、関係機関と連携しながら対応した。また、身寄りがなく、生活に不安のある高齢者には、早めに成年後見制度を活用するなどの周知を行った。	令和4年度の取組みと同様	関係機関と連携し必要なサービスが提供できる体制の継続、充実を図る。

【北本市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	自立支援協議会こども部会医療的ケア児のための協議の場を3回開催。事例検討等を実施。また、医療的ケア児のご家族に、相談窓口等を分かりやすく伝えるためのガイドブックの作成に取り組んだ。	自立支援協議会こども部会医療的ケア児のための協議の場を3回開催予定。当事者家族の声を聴く会、医療的ケア児の災害時における支援や課題についての講演会等を実施予定。ガイドブック発行予定。	自立支援協議会こども部会医療的ケア児協議の場等を活用し、関係機関との連携強化に取り組んだ。また、医療的ケア児のご家族に、相談窓口等を分かりやすく伝えるためのガイドブックの作成に取り組んだ。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅医療連携センターの相談件数 延べ58件	在宅医療連携センターにおける相談への対応。	相談では、コーディネーターの専門性の高い知識による医療・介護の助言ができた。また、医師会との情報連携による、地域の医師の紹介などができた。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	・自立支援協議会こども部会医療的ケア児のための協議の場において、「医療的ケア児・者の災害時における地域のネットワーク構築」をテーマに講演会を実施し、グループワーク等で課題の共有を行った。 ・災害時個別支援計画の作成。	・自立支援協議会こども部会医療的ケア児のための協議の場において、「医療的ケア児の災害時における支援や課題」をテーマに講演会を実施し、課題を共有し、解決につなげる。 ・災害時個別支援計画の作成を進める。	関係機関等との連携を強化し、災害時の医療的ケア児の支援体制構築に取り組んだ。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会 ※令和4年度は未開催	身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会を開催	身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会を開催 ※令和4年度、令和2年度は未開催

【伊奈町】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	町・医療機関等と定期的な会合を実施 多職種連携研修会	町・医療機関等と定期的な会合を実施 多職種連携研修会	医師会との連絡調整会議により関係各課と医療機関の連携を図った。
② 在宅歯科保健医療体制の充実	特になし（民間医療機関が実施）	特になし（民間医療機関が実施）	—
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅医療連携センターへ委託 町と関係機関で連携し、情報を共有	在宅医療連携センターへ委託 町と関係機関で連携し、情報を共有	—

④ 人材育成	研修・講習への参加	研修・講習への参加	—
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	避難行動要支援者システムの運用・整備	前年度に引き続き、システムの保守運用を行い、より情報提供同意者が増加するよう策を講じる。	・対象であるが、避難行動要支援者プラン未登録者へ、世帯ではなく個人単位で登録の促しを実施。 ・避難行動要支援者プランの情報更新が円滑に進められるよう、策を講じた。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	町内の高齢者等を見守る「お年寄り世帯見守りたい」ボランティアの運用	前年度に引き続き、たい員数の更なる増加を図るため、事業の周知を徹底する。入退院支援ルール（R4.5策定）に則り、連携体制を図る。ACPの普及・啓発に努める。4市1町にて連携会議を開催予定	高齢者等を見守る「お年寄り世帯見守りたい」ボランティアのたい員数増加を図るため事業周知した。また、入退支援ルールを策定し、連携体制を図った。

医師会

【北足立郡市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	「入退院支援ルール」の運用を開始した。学術講演会として多職種による「ACP普及啓発事業」を実施した。	コロナ禍で会議の不足。多職種連携強化を実践したい。	「入退院支援ルール」と「ACP普及啓発事業」を実践した。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	「入退院支援ルール」の実践を開始した。	運用し、トライ＆エラーが出ている部分あり。	「入退院支援ルール」を運用し、アップデートしていく方向。
④ 人材育成	「ACP人材育成」として医師会員3名から6名に増員した。	人材の増員により、講演会の回数、聴講者の人数が増えている。	徐々に講演会も増えているため、地域住民に浸透しつつある。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	活動していない。	—	災害担当と今後協議。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	活動していない。	—	身寄りのない高齢者を多職種で掘り起こし介護担当と検討。

【上尾市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	・在宅緩和ケア受実支援事業研修会を開催 地域の緩和ケアの知見を有する病院と地域の医療機関及び介護事業所等との連携体制構築のためのWEB研修会を開催。 開催日：R5.3.16 参加者：45人 対象者：医師、看護師、ケアマネ、介護士 ・上尾市、上尾中央総合病院、ケアマネの会、上尾市医師会をメンバーとした医療介護連携会議に参加。月1回開催。	医療介護従事者を対象として、在宅緩和ケア受実支援事業研修会を開催予定	研修会を実施し、関係機関・団体の多職種の連携強化を推進した。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	・在宅医療連携支援センター(拠点)が、市民、医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。相談件数：318件 ・医療機関、地域包括支援センター、公共施設等を記載した在宅診療マップを更新し、上尾市医師会ホームページで公開。 ・ACP普及啓発講師人材バンク登録制度に登録 ・登録医師によるACP普及啓発座談会を開催。 登録医師数：3名 座談会開催数：4回/年 開催日・(参加者数)：R4.7.6(35人)、R4.11.15(35人)、R5.2.24(24人)、R5.3.6(39人)	・在宅医療連携支援センター(拠点)の相談・支援。 ・ACP普及啓発講師人材バンク制度への登録。 登録医 5名予定 ・ACP普及啓発座談会の開催。 座談会開催予定回数：5回/年	市民からの座談会開催要請が増加。登録医師の増員が必要。
④ 人材育成	人生の最終段階における医療・ケアを担う人材育成研修会を会場とWEBのハイブリッド方式で開催。 対象者：地域の医師、看護師などの医療従事者やケアマネジャー 開催日・(参加者数)：R5.2.17(91人)	人生の最終段階における医療・ケアを担う人材育成研修会を開催予定	研修会を開催し、人生の最終段階における医療・ケアを担う人材育成を推進した。

歯科医師会

【北足立歯科医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加	在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加	各関係機関・団体との今まで以上の連携強化を目指す。
② 在宅歯科保健医療体制の充実	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣 北足立窓口 10件 上尾窓口 19件	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣	今まで以上の在宅歯科医療推進体制の充実を目指す。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談 北足立窓口 18件 上尾窓口 11件	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談	訪問歯科等に関する相談数の増加を目指す。

薬剤師会

【鴻巣薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	令和4年度鴻巣市在宅医療・介護推進協議会に参加	令和5年度鴻巣市在宅医療・介護推進協議会に参加	鴻巣市を中心とした会議に参加し、関連団体との連携を深め、その課題の会員伝達に努めた。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	鴻巣市で行う中央型自立支援ケア会議(年10回)、5包括支援センターで行う包括型自立支援ケア会議(年2回)に薬剤師アドバイザーを派遣	鴻巣市で行う中央型自立支援ケア会議(年10回)、5包括支援センターで行う包括型自立支援ケア会議(年2回)に薬剤師アドバイザーを派遣	医師の参加のないケア会議の中で、疾病とその薬の関連情報を提供し、一定程度の役割を果たした。

【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	・伊奈町在宅医療推進協議会へ委員として参加 ・定例地域ケア会議へ委員として参加 ・医療介護福祉をつなぐ会への参加と企画協力： 例年、関係機関約100名参加による研修だが、感染予防のため50名に限定して開催	同左予定：10月予定	他職種との業務内容の相互理解、顔の見える関係連携強化を図る。行政の関係者も参加して認識の共有を図っている。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	かかりつけ薬局・薬剤師として各自で継続実施	同左	かかりつけ薬局・薬剤師への認定拡充のために啓蒙活動を行う。
④ 人材育成	・薬剤師のための在宅医療講習会（会員有志） ・人生の最終段階における医療、ケアを担う人材育成講習会（会員有志）	同左	在宅医療への参画薬剤師・薬局の増加のために啓蒙活動を行う。

【桶川市薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	地域包括ケア会議に参加	地域包括ケア会議に参加予定	—
③ 必要な情報の提供、相談・支援	各薬局で随時情報の提供、相談を実施	各薬局で随時情報の提供、相談を実施	—
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	—	居宅療養管理指導の推進	—

【北本市薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	各医療機関と連携強化を図りたかったが未実施	各医療機関と連携強化を図る。	依頼があれば各種会議に参加

消防本部

【埼玉県央広域消防本部】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	—	・関係市との情報共有等の連携強化 ・医療支援情報等について関係市との共有 ・在宅医療介護連携推進会議への参加	・在宅療養者や頻回要請者からの救急要請に対応するため、関係市と更なる連携強化が必要となる。

【上尾市消防本部】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	全救急隊が情報共有シートで対象者の救急事案を共有。生活保護受給者を搬送した場合は担当部署へ報告。福祉の介入が必要な事案は、関係部署と情報を共有。	既往に精神疾患のある傷病者、生活保護受給者、頻回要請者等への対応について、情報共有を行うなど、関係部局との連携強化を図る。	全救急隊が対象者の情報を共有するとともに、搬送した場合には速やかに関係部署に報告を行うなど、支援につながる取組が実施できた。

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 関係機関・団体の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・難病対策地域協議会の実施 1回 協議会委員19名 ・医療的ケア児協議の場への参加 計14回 	<ul style="list-style-type: none"> ①難病対策地域協議会 開催予定 ②医療的ケア児協議の場への参加 ③任期満了に伴う委員改選 	<p>コロナ禍で書面やzoomも活用しながら難病患者支援に関わる情報や取組状況等を共有した。今後、地域課題の分析や解決に向けた検討等、関係機関の連携の推進が必要。</p>
② 在宅歯科保健医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所歯科保健推進会議 12月8日開催 30名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所歯科保健推進会議 開催予定 	<p>保健所歯科保健推進会議において、情報共有等を実施し、在宅歯科保健の推進、地域格差の縮小に努めている。</p>
③ 必要な情報の提供、相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①個別相談（通年） <ul style="list-style-type: none"> ・難病 訪問：5人 面接：55人 電話：151人 ・小慢 訪問：10人 面接：38人 電話：108人 ②（難病）療養生活のおたずねの実施（小慢）療養状況を伺うアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①個別相談（通年） <ul style="list-style-type: none"> ・難病 訪問：30人 面接：60人 電話：180人 ・小慢 訪問：15人 面接：40人 電話：150人 ②（難病）療養生活のおたずねの実施（小慢）療養状況を伺うアンケートの実施 	<p>コロナ禍でのマンパワー不足や患者家族の感染不安等により、訪問や面接での対応が困難な為、電話や文書での支援に努めた。ICTを活用した情報提供や相談・支援等を行う方法の検討が必要。</p>
④ 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ①精神保健 <ul style="list-style-type: none"> 精神保健相談人材育成研修 参加者19人 地域包括ケア研修会 参加者23人 ②難病対策 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅難病患者支援者研修会「摂食・嚥下障害の知識や在宅療養におけるケアの工夫」（オンデマンド配信 2/22～3/15） ・長期療養児教室「地域の医療的ケア児とその家族への支援について、支援者に求められること」 11月30日開催 30人参加 	<ul style="list-style-type: none"> ①精神保健 <ul style="list-style-type: none"> 当事者に学ぶ人材育成研修会 参加者46人 ②難病対策 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅難病患者を支える支援者育成のため神経難病患者支援に関する研修を開催予定 ・長期療養児教室「特別支援学校における医療的ケア児への支援」、「支援機関の連携と災害時の必要な取り組み」について、支援者向け研修会を開催予定 ③在宅医療に関する研修会を開催予定（R6.2） 	<ul style="list-style-type: none"> ①精神保健 <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステム構築に向けて人材育成を行った。 ②難病対策 <ul style="list-style-type: none"> 在宅難病患者を支えるため支援者への研修機会を提供。関係機関のネットワークの強化が課題。 ③地域における入退院支援ルール作成を支援するため、入退院支援ルール策定研修会を実施した。今後も、地域の関係機関と連携を図る。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	<ul style="list-style-type: none"> ①災害時医療機器使用者リスト作成 年2回（3月末、9月末）更新 <ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器装着 60人 酸素療法利用者 73人 ②在宅医療機器使用者のマッピング年2回（3月末、9月末）更新 <ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器装着 53人 酸素療法利用者 60人 ③管内市町長からの求めに応じて在宅医療機器使用者の情報提供（年2回） 	<p>難病・小慢受給者のうち人工呼吸器装着者と酸素療法利用者を把握。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害時医療機器使用者リスト作成 年2回（3月末、9月末）更新 ②在宅医療機器使用者のマッピング年2回（3月末、9月末）更新 ③管内市町長からの求めに応じた情報提供 	<p>災害時医療機器使用リストの随時更新と市町からの依頼を受けた情報提供を実施。また、地域の支援者に向け研修会を実施し、平時からの備えの意識を高める機会を設けている。提供した情報の活用状況や個別支援計画策定状況の把握が課題。</p>
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	—	<ul style="list-style-type: none"> ・身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会に参加予定 	<p>H30年度に、身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備検討会における検討結果を報告書として取りまとめた。</p>

第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.5）

重点取組	健康危機管理体制の整備充実
目標	関係機関等による「顔の見える関係」を形成し、健康危機管理体制の充実を図るとともに、健康危機管理対策の強化を図ります。
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	新型コロナウイルス対策本部会議の開催 感染症対策を講じた避難所の開設訓練実施	感染症対策を講じた避難所の開設訓練実施 7月5日（水） 災害対応図上訓練実施 令和6年1月17日（水）	令和2年より感染症対策を講じた避難所の開設訓練や職員による図上訓練を実施し、市民の健康危機管理体制の充実を図っている。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	令和4年度埼玉県県央地域災害保健医療調整会議に出席。（令和5年3月24日、Web会議）	災害時に迅速に対応するため、また医療保健対応マニュアルの見直しに向けて、災害対応研修に参加する。	合同会議を実施し、災害時医療保健活動マニュアルを策定したが、見直しが必要である。
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	市内の小中学校で思春期防煙・薬物乱用防止教室を開催。 小学校13校 中学校3校で実施 2130人に実施	市内の小中学校で思春期防煙・薬物乱用防止教室を開催。 小学校14校 中学校3校で実施予定 市内女子高での食育 高校生の1食分のエネルギー量、朝食、のぞましい間食についてのフードモデルの展示を行った。	他の学校行事との日程調整が困難なことがある。
④ 感染症対策の推進	広報やホームページに感染対策について掲載し、周知、啓発を行った。	広報やホームページに感染対策について掲載し、周知、啓発を行う。	市内公共施設に手指消毒剤を配布。感染対策を広報やホームページに掲載し、周知、啓発した。公共施設の利用制限を実施。新型コロナワクチンの接種体制を整えた。

【上尾市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	上尾市地域医療に関する懇話会を開催（書面開催）（令和4年12月）	上尾市地域医療に関する懇話会を開催予定（書面開催）	救急医療その他の地域医療に関する課題について、関係団体と懇談し、及び当該関係団体との連携を深めるため、毎年上尾市地域医療に関する懇話会を開催している。令和2年からは新型コロナウイルス感染拡大のため、書面開催。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	医療救護所の設置運営訓練の企画を検討していたが、新型コロナウイルス感染症対応のため進捗なし。	上尾市医師会と共に災害支援に関する作業部会を立ち上げ、大規模災害時における初動体制の確認、上尾市と上尾市医師会医療機関との災害訓練の具体的計画について検討する予定。	医療救護所の設置運営訓練の企画を検討しつつもR4年度まで実施できていなかったが、R5年度になり、上尾市医師会と作業部会と立ち上げるなど具体的に動き出すことができた。
④ 感染症対策の推進	新型コロナウイルス対策本部の設置、対策本部会議の開催（2回）。	新型コロナウイルス対策本部の設置、対策本部会議の開催（1回）。 （感染症法の位置づけが5類移行後も、必要に応じ開催する予定。）	新型コロナウイルス対策本部の設置、対策本部会議の開催（57回）（令和5年5月1日まで）。 新型コロナウイルス専門家会議の開催（1回）。

【桶川市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	令和5年3月「桶川市地域防災計画」を改訂	災害対応研修への参加	研修への参加、訓練の実施により、健康危機事案の発生に備える。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	庁内の関係部署において、指定福祉避難所に関する勉強会を開催（4回）	「災害時の医療救護活動に関する協定」を締結している（一社）桶川北本伊奈地区医師会、（一社）埼玉県北足立歯科医師会、桶川市薬剤師会、桶川市接骨師会を含む桶川市地域防災訓練を予定	平成29年度に「災害時の医療救護活動に関する協定」を（一社）桶川北本伊奈地区医師会、（一社）埼玉県北足立歯科医師会、桶川市薬剤師会と締結。令和2年2月26日に桶川市接骨師会とも協定を締結。防災訓練にて体制の確認を行う。
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	小学校5、6年生を対象に実施する防煙健康教室において薬物乱用防止についての講話も実施。市内3校、500名参加。	小学校5、6年生を対象に市内4校で実施する防煙健康教室において薬物乱用防止についての講話も実施。	成人を対象とした啓発が必要。
④ 感染症対策の推進	新型コロナウイルス対策会議の開催（10回、うち書面開催7回）	新型コロナウイルス対策会議の開催	コロナ禍での対応を振り返り、新たな感染症の発生に備えるため、新型インフルエンザ等行動計画の見直しを検討。

【北本市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
④ 感染症対策の推進	<p>【個別予防接種状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCG 337人 ・四種混合 1,341人 ・二種混合 388人 ・不活化ポリオ 2人 ・麻しん風しん混合 760人 ・水痘 705人 ・日本脳炎 2,115人 ・インフルエンザ菌b型 1,313人 ・小児用肺炎球菌 1,318人 ・B型肝炎 989人 ・ロタ 789人 ・子宮頸がん 501人 ・高齢者インフルエンザ 11,445人 ・高齢者肺炎球菌 623人 <p>【任意予防接種助成金状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おたふくかぜ 305人 ・幼児のインフルエンザ 1,531人 ・ロタウイルス 23人 ・高齢者肺炎球菌 252人 ・子宮頸がん 28人 ・帯状疱疹 848人 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別予防接種 ・任意予防接種補助金制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種法に基づく定期予防接種を実施。 ・令和6年度末まで、風しんの追加的対策（緊急風しん抗体検査事業・風しん第5期定期接種）を実施。 ・任意接種となっている「水痘、おたふく、小児用インフルエンザ、ロタウイルス、高齢者肺炎球菌」については、予防接種補助金制度による一部補助を実施。令和4年度より「帯状疱疹」の一部補助を追加。

【伊奈町】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	危機管理部門との連絡調整、情報共有	危機管理部門との連絡調整、情報共有	危機管理部門との連絡調整、情報共有。保健師が町総合防災訓練に参加し、危機管理部門との連携の強化を図った。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	—	<ul style="list-style-type: none"> ・町総合防災訓練において、医師会等と連携した負傷者対応訓練の実施 ・災害時医療保健活動マニュアルの作成 	町総合防災訓練における、薬剤師会、歯科医師会及び柔道整復師会との連携強化
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	公共施設等にポスターを掲示し、周知を図った。	公共施設等にポスターやパンフレットを設置予定。	公共施設等にポスターを掲示し、対策の重要性の周知を図った。
④ 感染症対策の推進	新型コロナウイルス感染症対策として、公共施設に消毒液等を配布。また、感染症情報について、随時広報や町ホームページで周知を行った。	必要に応じて公共施設に消毒液等を配布し、感染症情報については、広報や町ホームページで周知を図る。	ワクチン接種等の情報を、迅速に住民へ提供することができた。

医師会

【北足立郡市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	北足立郡市医師会、管内市町、鴻巣保健所、消防本部による「地域医療協議会」を実施している。	本年度も「地域医療協議会」を実施する。	コロナ禍にあって、実施が危ぶまれたが、概ね計画どおり実施できた。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	災害時医療保健活動マニュアルを多職種が共通認識のもと実践できるための会議を実施している。	災害時医療保健活動マニュアルの細部について話し合い決定する。	コロナ禍にあって活動が休止していたが、令和4年より再開した。
④ 感染症対策の推進	新型コロナウイルスワクチンの個別接種、発熱外来の設置による蔓延防止に協力し、ほかに小児定期接種、インフルエンザ予防接種等への協力、感染予防対策を行った。	本年度も同様に予防接種に協力し、感染予防対策を行う。	コロナ禍にあって、新型コロナウイルスワクチン接種、発熱外来が主となってしまったが、令和4年度より正常にもどりつつある。

【上尾市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	県央地域災害保健医療調整会議に参加。R5.3.24	<ul style="list-style-type: none"> ・市及び拠点病院との会議を開催 令和5年度当会災害支援委員会を開催予定。下部組織に作業部会を設置・開催予定 	県央地域災害保健医療調整会議に参加し、災害対策の対応に努めた。
④ 感染症対策の推進	市内感染症（インフルエンザ）のサーベイランスを新型インフルエンザ発生直後の平成21年から実施しており、新型コロナ発生後は、インフルエンザと新型コロナのサーベイランスを実施。診療・検査体制の充実を図り、予防接種の推進・実施、感染状況の情報提供を行い、感染拡大の防止を図った。	前年度同様にサーベイランスを継続、予防接種、診療・検査体制の充実を図る。	市内感染症（インフルエンザと新型コロナ）のサーベイランスを実施し、市内感染状況を把握し、各医療機関に周知することで市内医療機関の体制強化を図った。

歯科医師会
【北足立歯科医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	—	—	各関係機関・団体との今まで以上の連携強化を目指す。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	埼玉県災害歯科支援チームへの参加	埼玉県災害歯科支援チームへの参加	各関係機関・団体との今まで以上の連携強化を目指す。
④ 感染症対策の推進	桶川北本伊奈地区医師会立准看護学校で講義	桶川北本伊奈地区医師会立准看護学校で講義	桶川北本伊奈地区医師会立准看護学校で講義を継続し、医療従事者への連携および理解を深める。

薬剤師会
【鴻巣薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	鴻巣市防災会議（書面開催）に参加	鴻巣市防災会議（書面開催）に参加	鴻巣市における防災会議には通年参加しているが、薬剤師会としての意識の成熟と防災時の行動としてつながるかが疑問で問題点となる。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	実績なし	実績なし	薬剤師が含まれた発災を踏まえたシュミレーションが、行われていないため今後は必要と考える。
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	学校薬剤師における給食衛生検査の実施 各学校薬剤師の県薬講習会による新規知識の習得	学校薬剤師における給食衛生検査の実施 各学校薬剤師の県薬講習会による新規知識の習得	昨今騒がれている若年者の薬物乱用の防止のために、新たな知識の習得、薬乱防止の学校教育の充実が必要と考える。
④ 感染症対策の推進	新型コロナ感染症に特化して実施（No.6参照）	新型コロナ感染症に特化して実施（No.6参照）	新たな感染症の発生の際、正確な情報を末端の薬局にも速やかに届くシステムの構築をお願いしたい。新型コロナ感染症に関しては、その増減からの適切な注意喚起が必要と考える。

【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	薬剤師災害リーダー研修会への参加：2名受講済み	薬剤師災害リーダー育成講習会への参加：11月、1月予定	災害発生時の勤務体制状況により活動の困難性予見のため受講者が少ない。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	災害時の薬剤師会連絡網の検討	災害時の薬剤師会連絡網の作成	感染防止のため活動の規模が収縮されていた。関係機関との実践的な訓練活動の再開を望む。
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	・薬物乱用防止指導員協議会参加：5月 ・「アンチドーピングガイドブック」「学校環境衛生基準」などの教材を利用した自主学习	・学校薬剤師への薬物乱用防止研修会参加 ・教材による自己学習、生徒、親などへの啓蒙活動の継続 ・薬物乱用防止指導員協議会参加：6月 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン参加：7月	啓蒙講習での適用教材の検索
④ 感染症対策の推進	住民へのワクチン接種に対する接種推進のため店頭での啓蒙活動：常時実施	—	治療薬、検査キット販売体制の充実

【桶川市薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	—	災害時活動マニュアルに沿って対応	—
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	薬物乱用防止のポケットカレンダーの配布	薬物乱用防止のポケットカレンダーの配布	—

【北本市薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	埼玉県薬剤師会主催の研修に参加	各関係機関の依頼があれば各種会議に参加	依頼があれば各種会議に参加
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	薬物乱用防止ポスターを各会員薬局に掲示23店舗	薬物乱用防止ポスターを各会員薬局に掲示23店舗	毎年薬物乱用防止ポスターを各会員薬局に掲示

消防本部

【埼玉県央広域消防本部】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	・要援護高齢者支援ネットワークによる連携 ・県央地域災害保健医療調整会議への参加	災害時における地域医療機関との連携強化	・災害時における、DMAT・防災ヘリ・ドクターヘリとの連携 ・大雨等による洪水時の医療機関への搬送手段の確保が必要

【上尾市消防本部】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	・関係機関と必要な調整を行い、伊奈町消防本部との広域化作業を進めた。 ・救急救命士・救急隊員の育成（17名）《伊奈》 ・救命講習等の実施（776名）《伊奈》	緊急医療情報キットを継続的に配布することで、救急活動を円滑にし、市民の安全を確保する。	・H30～R4年度までに、緊急医療情報キットを6,328個配布。救急隊の使用実績は220件。今後も継続して実施する。 ・計画的に救急救命士を育成するとともに、救命講習等を実施した。《伊奈》

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（H30～R5年度）の取組総括
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	・アクションカードの見直し ・衛星携帯電話通信訓練の実施（6回）	・地域における災害訓練研修への参加 ・衛星携帯電話通信訓練の実施（6回）	災害発生時の保健所の初動対応を確認するため、アクションカードに基づく訓練を実施した。また、保健所間における衛星携帯電話等を使用した通信訓練を実施した。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	・医療的ケア児協議の場への参加 ・埼玉県央地域災害保健医療調整会議の開催（R5.3.24）	・医療的ケア児協議の場への参加 ・埼玉県央地域災害保健医療調整会議設置要綱の改正（構成員の見直し） ・埼玉県央地域災害保健医療調整会議の開催	・鴻巣・北本自立支援協議会にて医療的ケア児のガイドブック作成に取り組んでいる。 ・県央地域における災害医療体制について検討する組織として、H29年度に埼玉県央地域災害保健医療連絡会を設置した。連絡会は、R2年度に埼玉県央地域災害保健医療調整会議に改組した。
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	・HACCP導入確認数：1762施設 ・薬物乱用防止講習会の講師派遣：18回	・HACCP稼働確認：監視時 ・薬物乱用防止講習会の講師派遣：15回 ・薬物乱用防止研修会の開催：11月	許可・届出全施設にHACCP導入支援を行った（HACCP導入確認数4405施設） 毎年15回以上薬物乱用防止講習会の講師派遣（延べ136回）
④ 感染症対策の推進	・新型コロナウイルス感染症発生届数：70,593件 ・結核新登録患者数：40人、潜在性結核感染症：21人（R4.1/1～12/31） ・3類感染症発生届数：4件 ・4類感染症発生届数：9件	・COVID-19の感染症法5類へのスムーズな移行 ・社会福祉施設におけるクラスター対策 ・関係機関への迅速な情報伝達と連携強化	R2～R5前半は、COVID-19への対応が主であり、関係機関との連携により対応できたが、結核や性感染症等への対応はマンパワー不足により十分ではなかった。

第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.6）

重点取組	新型コロナウイルス感染症対策
目標	これまでの経験を活かし、感染拡大を未然に防ぐとともに、感染拡大を最小限に食い止められるよう、相談、診療・検査、医療・療養の体制づくりを進めます。
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	市民から相談があった際には、県コロナ総合相談センター等を案内するなど、適宜対応した。	市民から相談があった際には、県コロナ総合相談センター等を案内するなど、適宜対応する。	市民から相談があった際には、県コロナ総合相談センター等を案内するなど、適宜対応した。
② 新型コロナウイルス感染症の体制整備（診療・検査体制）	発熱外来を設置している市内医療機関の情報をホームページに掲載し、広く周知した。また県指定診療・検査医療機関検索システムについて案内した。	県指定診療・検査医療機関検索システムについて案内する。	発熱外来を設置している市内医療機関の情報をホームページに掲載し、広く周知した。また県指定診療・検査医療機関検索システムについて案内した。
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	発熱外来を設置している市内医療機関の情報をホームページに掲載し、広く周知した。また県指定診療・検査医療機関検索システムについて案内した。	県指定診療・検査医療機関検索システムについて案内する。	発熱外来を設置している市内医療機関の情報をホームページに掲載し、広く周知した。また県指定診療・検査医療機関検索システムについて案内した。
④ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組	市内42医療機関による新型コロナワクチンの個別接種を実施 【実績】市内個別接種医療機関による総接種回数148,926回	市内40医療機関にて、引き続き新型コロナワクチンの個別接種を実施	新型コロナワクチンについては個別接種中心の接種体制を構築し、順調に実施している。今後予定される定期接種化には、自治体を介さないワクチンの流通等が課題である。

【上尾市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	新型コロナウイルス対策室（令和2年5月～令和5年3月設置）がワンストップで新型コロナウイルス感染症に関する様々な相談に対応。	新型コロナウイルス対策室廃止後は健康に関する相談に関しては健康増進課で対応。	新型コロナウイルス対策室（令和2年5月～令和5年3月設置）がワンストップで新型コロナウイルス感染症に関する様々な相談に対応し、対策室廃止後は健康に関する相談に関しては健康増進課で対応。
② 新型コロナウイルス感染症の体制整備（診療・検査体制）	・令和4年11月実施分までの行政検査の際に発生する自己負担額の一部を助成。（初診・再診料、院内トリアージ実施料、鼻腔咽頭拭い液採取に該当数部分） ・上尾市平日夜間及び休日急患診療所において平日夜間および休日（日曜・祭日）に診療・検査を実施	上尾市平日夜間及び休日急患診療所において平日夜間および休日（日曜・祭日）に診療・検査を実施	令和2年度、PCR検査センターの設備整備目的で上尾市医師会に補助金交付。 令和2年6月から令和4年11月実施分の行政検査の際に発生する自己負担額の一部を助成。（初診・再診料、院内トリアージ実施料、鼻腔咽頭拭い液採取に該当数部分） 令和2年度に一定の高齢者等に対して行政検査以外のPCR検査費用の一部助成。 上尾市平日夜間及び休日急患診療所において平日夜間および休日（日曜・祭日）に診療・検査を実施。
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	市内の埼玉県指定診療・検査医療機関にアルコール消毒液配布。	—	令和2年度、市内医療機関へアイソレーションガウン、サージカルマスク等の感染防護具の配布。 令和3～4年度市内の埼玉県指定診療・検査医療期間へアルコール消毒液配布。
④ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組	第二期追加接種（4回目接種）、5～11歳への追加接種（小児3・4回目接種）、令和4年秋開始接種、乳幼児接種を実施	令和5年春開始接種、令和5年秋開始接種を実施	接種予約については、コールセンターでの電話予約、予約システムでのWEB予約、「おたすけ窓口」での対面予約等を実施し、市民の利便性向上を図った。また、医療機関との連携を密にし、適切なワクチン分配を行った。

【桶川市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	・相談問合せ専用ダイヤルを開設（相談件数81件） ・在宅療養者に対し、電話連絡を行い、パルスオキシメーター、在宅療養セット等の必要性の確認を行った。第7波の感染者増加に伴い、必要な支援が全ての人に確実に届くように、電話連絡を止め、レターパックによるパルスオキシメーターの配送、支援物資の案内を全在宅療養者へ行う方法へ変更し実施した。年末年始においても対応した。	相談問合せ専用ダイヤル(令和5年5月8日終了)	感染拡大時には、電話が鳴りやまず、通常業務に影響することもあったが、随時見直し等を行い、対応ができるように努めた。
④ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組	・市内21医療機関で新型コロナワクチンの主に4～5回目接種を実施。また、その体制整備を行った。 ・濃厚接触者となった同居家族に対し、抗原検査キットを配布(4,301世帯、21,016個)	市内21医療機関で新型コロナワクチンの令和5年春開始接種及び令和5年秋開始接種を実施。また、その体制整備を行う。	新型コロナワクチンの接種については、市内医療機関の協力により、大きな問題もなく接種を進められたが、国からの情報が遅いことに起因する混乱や、追加の支出があった。

【北本市】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
④ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組	・新型コロナワクチン接種実施 被接種者数 56418人	国が示す実施期間中は新型コロナワクチン接種体制を維持。	市民に対し、周知に努めて、安心安全に実施することができた。

【伊奈町】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	新型コロナウイルス感染症に関する相談があった場合は、保健所や県へ適切に案内した。	新型コロナウイルス感染症に関する相談があった場合に適切な案内を行う。	住民からの相談に対し、適切な相談窓口を案内するよう努めた。
② 新型コロナウイルス感染症の体制整備（診療・検査体制）	感染に不安がある無症状の町民に対し、埼玉県PCR検査等無料化事業を案内した。	—	住民からの相談に対し、適切な相談窓口を案内するよう努めた。
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	・埼玉県との協定によるパルスオキシメーターの貸与 ・防護服を備蓄	保健所より貸与されているパルスオキシメーターを緊急時に住民へ貸出する。	パルスオキシメーターを自宅療養者へ迅速に配布したことで、自宅療養者の体調管理を補助できた。
④ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組	・公共施設に対し、消毒液等を配布 ・新型コロナウイルスワクチン接種の推進	・公共施設に対し、消毒液等を配布 ・新型コロナウイルスワクチン接種の推進	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に努めた。

医師会

【北足立郡市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	引き続き協力医療機関を募っていく・2件増加	引き続き協力医療機関を募っていく。	整ってきている。
② 新型コロナウイルス感染症の体制整備（診療・検査体制）	小児科の協力医療機関を募っていく・2件増加	小児科の協力医療機関を募っていく。	整ってきている。
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	健康観察の簡素化と協力医療機関の拡充・My Her-Sysの積極的活用	抗ウイルス薬の積極的活用。	理解が進んでいる。
④ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組	ワクチン効果の啓蒙を続けていく・ワクチン接種	ワクチン効果の啓蒙を続けていく。	ワクチン継続中。

【上尾市医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	帰国者接触者相談センター継続…在宅当番医制により、医師や医療機関からの電話相談対応。また、市民問い合わせについては医師会事務局で対応。新型コロナウイルス感染症5類移行後閉鎖	前年同様に相談体制を継続し、新型コロナ感染症5類移行後閉鎖。	新型コロナウイルス感染症5類変更までの間、在宅当番医制の相談センターを実施し、医師、市民からの電話相談に対応した。
② 新型コロナウイルス感染症の体制整備（診療・検査体制）	県指定診療・検査医療機関(44医療機関) 行政検査実施医療機関 (56医療機関) ※医療機関は、医師会加入医療機関のみ	県指定診療・検査医療機関(48医療機関) 行政検査実施医療機関 (56医療機関) ※医療機関は、医師会加入医療機関のみ	県指定診療・検査医療機関、行政検査実施医療機関への参加を促進し、診療・検査体制の整備に努めた。
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	・PCR検査センター継続(市内1医療機関に委託) …新型コロナウイルス感染症5類移行後閉鎖 ・感染拡大時におけるゴールデンウィーク、お盆、年末年始期間、日曜日・祝日の特別診療・検査体制の確保	新型コロナウイルス感染症5類移行後も引き続き感染対策を行い診療・検査を実施する。	新型コロナウイルス感染症5類変更までの間、PCR検査センターを市内医療機関に再委託し、また、感染拡大時の連休時の診療・検査医療機関の確保に努めた。
④ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組	新型コロナワクチン接種…実施実医療機関数(73医療機関)	新型コロナワクチン接種…実施実医療機関数(71医療機関)	新型コロナワクチン接種事業を市から受託し、感染拡大防止に取り組んだ。

歯科医師会

【北足立歯科医師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	—	—	新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）を検討する。
② 新型コロナウイルス感染症の体制整備（診療・検査体制）	—	—	新型コロナウイルス感染症の体制整備を充実させる。
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	歯科医師会に非接触式検温センサーの設置	歯科医師会に非接触式検温センサーの設置	新型コロナウイルス感染症の体制整備を充実させる。
④ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組	歯科医師会に非接触式検温センサーの設置 会議時などでのマスク着用	歯科医師会に非接触式検温センサーの設置 会議時などでのマスク着用	新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組を必要に応じて継続させる。

薬剤師会

【鴻巣薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	コロナ関連情報の継続的な情報収集から、顧客・患者への感染者の増減やワクチン・治療薬の情報提供した。	5類以降も顧客・患者に感染者の推移や治療薬を含めた関連情報の提供する。	薬局での個別の発信には情報に隔たりがあったり、感染者の増減情報入手に限界があるので、予防についての警戒情報のしっかりした発信元が必要と考える。
② 新型コロナウイルス感染症の体制整備（診療・検査体制）	休日のコロナ抗原検査の入手困難の解消のため、鴻巣市休日当番薬局体制に参加する全薬局に抗原検査キットの販売の整備を行った。	5類となり、コロナ抗原検査キット販売整備は各薬局の判断とする。	ワクチン接種が急務の際は、集団接種の手伝い、治療薬が出てからはその備蓄・提供に滞りのない様務めた。
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	国の管理下におかれたラゲブリオ・パキロビットを地区内薬局に体制整備を行った。	近隣医療機関の診療体制を鑑み、各薬局で治療薬ラゲブリオ・パキロビット・ゾコーバを備蓄する。	治療薬の処方、治療薬負担が国か否かにより処方に変化がみられると思うので、より一層の近隣医療機関との意思疎通が大切である。

【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	各薬局で、症状相談、医療機関、受診までの手順などの助言を実施。	各薬局で、症状相談、医療機関、受診までの手順などの助言対応を継続。	これまでの体制整備で適切な対応が確保できている。継続体制を保つ。
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	治療薬、診断薬の取扱い薬局の選定と公表により医療機関との連携、感染患者への迅速な医薬品の提供：開局時間外の対応など埼玉県HPに公表	治療薬、診断薬の取り扱い薬局の公表により医療機関との連携、感染患者への迅速な医薬品の提供：開局時間外の対応など埼玉県HPに公表	左記体制により適切な医療活動が維持できている。
④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組	薬剤師による住民からのワクチン接種等への質問に対する相談・助言：医療機関への早期受診へ繋げた。	・同左継続 ・住民へマスク・チラシを配布し感染防止の再啓発運動：地域の健康まつり開催時など適時。 ・学校薬剤師を通して担当校へのマスク、手袋の無償配布による感染防止の注意喚起：10月適宜	感染に対する気の緩みについて注意喚起が必要。

【桶川市薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	随時相談	随時相談	—
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	コロナ検査キットの販売	コロナ検査キットの販売	—
④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組	消毒液の設置、換気	消毒液の設置、換気	—

【北本市薬剤師会】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	各薬局で可能な範囲で相談	各薬局で可能な範囲で相談	各薬局で可能な範囲で相談
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	各薬局で可能な範囲で抗原検査キットの販売、検査	各薬局で可能な範囲で抗原検査キットの販売、検査	各薬局で可能な範囲で抗原検査キットの販売、検査
④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組	各薬局で手指消毒の実施。コロナワクチンの接種率を上げる。	各薬局で手指消毒の実施。コロナワクチンの接種率を上げる。	各薬局で手指消毒の実施。5類になり接種率の低下。

消防本部

【埼玉県央広域消防本部】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	・感染防止資器材（必要備蓄数）の確保 ・救急自動車内へオゾン発生装置の配備 ・保健所と締結し、感染症対策救急自動車によるコロナ陽性者移送	感染防止資器材（必要備蓄数）の確保	・感染防止備蓄資器材を確保していたため、コロナ流行時においても資器材が不足せず対応することができた。 ・コロナ陽性者の移送について、保健所と連携しスムーズに業務を遂行できた。
④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組	・保健所等との救急搬送・移送に係る連携強化（救急搬送に係る陽性者情報等の共有） ・救命講習の縮小や受講者のマスク着用及び手指消毒 ・職員のワクチン接種	・コロナウイルス陽性者の救急搬送件数把握の継続 ・救命講習受講者へのマスク着用依頼	—

【上尾市消防本部】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	<ul style="list-style-type: none"> 救急車全車両内に設置したオゾン発生装置（8台）を継続して使用。 新型コロナウイルス感染症移送業務の実施、感染防止資器材の導入。《伊奈》 	オゾン発生装置に代わる感染防止対策資器材の導入を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 感染拡大時の救急出動体制の維持に課題が残った。 搬送困難事案が増加し対応に苦慮した。《伊奈》
④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 傷病者及び関係者のマスク着用の徹底。 収容依頼時、陽性者との接触の有無など、詳細な情報の聴取と申し送りの徹底。 職員の健康管理や換気及び消毒の徹底。 リモート研修の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 発熱等の症状がある傷病者及び関係者には、サージカルマスクを渡して着用してもらう。 収容依頼時、陽性者との接触の有無など詳細な情報を聴取し、医師や看護師に申し送る。 車内消毒を含めた感染防止対策の徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> 陽性者から救急隊員への感染例は無く、対策が概ね功を奏した。 職員の感染拡大時における勤務体制や人員の確保に課題が残った。《伊奈》

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和4年度取組内容・実績	令和5年度取組計画	今期（R4～5年度）の取組総括
① 新型コロナウイルス感染症の体制整備（相談体制）	<ul style="list-style-type: none"> 管内市町感染症担当者連絡会議の開催：R4.11.22開催、15名出席 相談件数：24,606件 	<ul style="list-style-type: none"> 管内市町感染症担当者連絡会議の開催により、情報共有及び連携強化を図る：2回 ホームページ等による相談窓口の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 方針変更に合わせて、適宜対応マニュアルの改訂により平準化を図った。 夜間の電話対応体制の整備が課題である。
② 新型コロナウイルス感染症の体制整備（診療・検査体制）	<ul style="list-style-type: none"> 診療検査医療機関の整備と周知 検査受検者向け説明リーフレットの作成と検査機関への配布依頼 	ホームページ等による診療検査医療機関の周知	診療検査医療機関の拡充と周知により、有症状者が迅速に検査が受けられる体制の整備に努めた。
③ 新型コロナウイルス感染症の体制整備（医療・検査体制）	<ul style="list-style-type: none"> 管内感染管理認定看護師連絡会の開催：R4.7.5開催、10名出席 医療機関、医師会への迅速な情報提供の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 管内感染管理認定看護師連絡会の開催により情報共有及び施設のクラスター対策の検討：2回 加算1医療機関の合同カンファレンス、訓練への参加により連携強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 症状悪化時に外来受診やリモート診療、往診、入院等で迅速に対応できる連携体制の整備に努めた。
④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設等のクラスター対応の実施：延べ173件（ICNIによる施設訪問指導：12施設） 高齢者施設等職員向け感染症対策研修会（Zoom）の開催：R4.11.1開催、82名参加、11/8～11/22YouTube見逃し配信 342回 12/19～鴻巣保健所ホームページにて動画公開 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設等のクラスター対応の実施 高齢者施設等職員向け感染症対策研修会の開催（Zoom） 在宅療養支援者向け感染症対策研修会の開催（ハイブリッド） 	<ul style="list-style-type: none"> 主に重症化を招きやすい高齢者の感染拡大防止に向けて、研修会の開催、ICNIによる訪問指導等を行い、一定の成果が見られた。